

北海道地誌略

村尾元長編

全

特31

1

023264-000-3

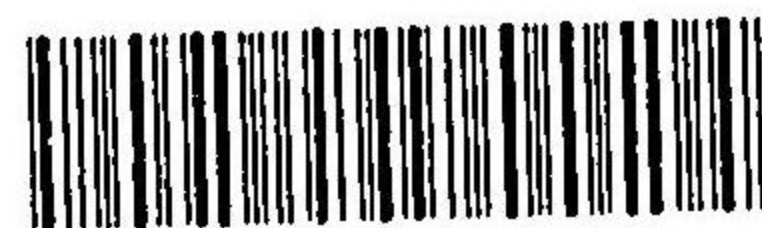
特31-1

北海道地誌略

村尾 元長/編

M29

ADC-0136



村尾元長編

北海道地誌略

東京

集英堂藏版

特31
1

北海道地誌略

例言

一各府縣概ネ管内地誌アリテ小學校教授ノ用ヲ爲セリ
 獨リ北海道ニ至リテハ此編著ナシ故ニ教師各見聞ス
 ル所ニ基キテ教授案ヲ作り生徒ニ教授ス其不便想フ
 ベシ且ツ從來初中等教育ニ關スル日本地誌世ニ行ル
 ヲモノ少カラスト雖ドモ山岳河流ヲ初トシ名稱高低
 長幅等實地ト大ニ異ナリ甚シキニ至リテハ札幌ヲ以
 テ石狩川ニ濱スト記スルモノアルニ至ル蓋シ其材料
 ノ欠乏ニ基因セリ余不肖自ラ揣ラズ小學校教授ノ便ヲ
 圖ルヲ目的トシ此書ヲ編述シ且ツ世人ヲシテ本道地
 理ノ大要ヲ知ルノ材料ニ供セントス

北海道地誌略 例言

一 集英堂藏版

村尾元長編

北海道地誌略

東京

集英堂藏版

特31
1

北海道地誌略

例言

一各府縣概ネ管内地誌アリテ小學校教授ノ用ヲ爲セリ
 獨リ北海道ニ至リテハ此編著ナシ故ニ教師各見聞ス
 ル所ニ基キテ教授案ヲ作り生徒ニ教授ス其不便想フ
 ベシ且ツ從來初中等教育ニ關スル日本地誌世ニ行ル
 ヲモノ少カラスト雖ドモ山岳河流ヲ初トシ名稱高低
 長幅等實地ト大ニ異ナリ甚シキニ至リテハ札幌ヲ以
 テ石狩川ニ濱スト記スルモノアルニ至ル蓋シ其材料
 ノ欠乏ニ基因セリ余不肖自ラ揣ラズ小學校教授ノ便ヲ
 圖ルヲ目的トシ此書ヲ編述シ且ツ世人ヲシテ本道地
 理ノ大要ヲ知ルノ材料ニ供セントス

北海道地誌略 例言

一 集英堂藏版

一北海道ハ土地廣大ナルヲ以テ一國ニシテ一二府縣ヲ合シタルモノヨリ大ナルアリ從テ地勢山川其他記スヘキ事項多ク叨リニ簡略スルヲ得ズ然レドモ小學校ハ教授時間ニ限リアリ又生徒ノ能力ヲ料ラサル可ラス此目的ヲ達スルハ極メテ困難ニ屬セリ今此書ハ繁ヲ去リ簡ニ就キ全道地理ノ概要ヲ知ラシムルヲ主トシ尚ホ卷首ニ地圖ヲ挿ミ卷末ニ圖表二葉ヲ付シテ参照ト記臆ニ便ナラシム其詳細ニ至リテハ他日別ニ地理書ヲ編述シテ參考ノ便ニ供スベシ

一本書近キヨリ遠キニ及ボシ既知ヨリ未知ニ入ルノ順序ニ基キ兒童心力ノ發育ニ應シ且ツ制規ノ教授時間ニ完了スルコトヲ期セリ故ニ教師ハ教授ノ際ニ當リ

國ノ順序ヲ顛倒シ或ハ文意ヲ伸縮スル等適宜斟酌ヲ加ヘテ可ナリ

一北海道ノ地名ハ概ネ「あいの語」ヨリ来ルヲ以テ適當ノ漢字ヲ用ウルモノ少シ故ニ今此書ハ公稱郡町村等ノ外ハ一定ノ漢字ヲ用ヒ来ルモノハ漢字(假令「ハ襟裳」利別ノ類)ヲ以テ記シ否ザルモノハ平假名(假令「ハ」)ヲ以テ記ス而シテ初出ノ地名ニハ必ズ假名ヲ附セリ是兒童ヲシテ地名記憶ノ爲メニ徒ニ心思ヲ疲勞セシメザラシメンガ爲ナリ

一文字文章ハ平易ヲ勉メ且ツ記述ニ趣味ヲ與ヘ兒童ヲシテ此學ヲ嗜好スルノ念ヲ起サシムルコトヲ期セリ故ニ成ルヘク假賑、稠密、崢嶸、明媚等ノ熟語ヲ省キ目錄

的ノ記述ヲ避ケ文牀ヲ變化シ互ニ關係ヲ有セシム然
レドモ紙數限リアリ充分ニ其主旨ヲ貫徹スル能ハザ
ルハ著者ノ遺憾トスル所ナリ

一此書ノ材料ハ北海道廳發刊ノ地質報文、鑛物調査報文、
統計書、勸業年報及地圖等ト著者ガ正實ナル見聞トニ
由リテ記述シ且ツ理學博士神保小虎氏ノ說ヲ採レリ
圖画ハ徒ニ高尚緻密ニ馳セズ務メテ大体ノ實景ヲ描
出セリト雖ドモ讀者諸君若シ誤謬ヲ發見セラレハコ
トアラバ幸ニ教示ヲ各ム勿レ著者ハ再三校訂シ此書
ノ完全ヲ期スルヲ怠ラス讀者幸ニ之ヲ諒セヨ

明治二十八年六月

著者 誌

北海道地誌略

目次

第一編 總論

第二編 各國誌

渡島國

後志國

石狩國

天鹽國

北見國

膽振國

日高國

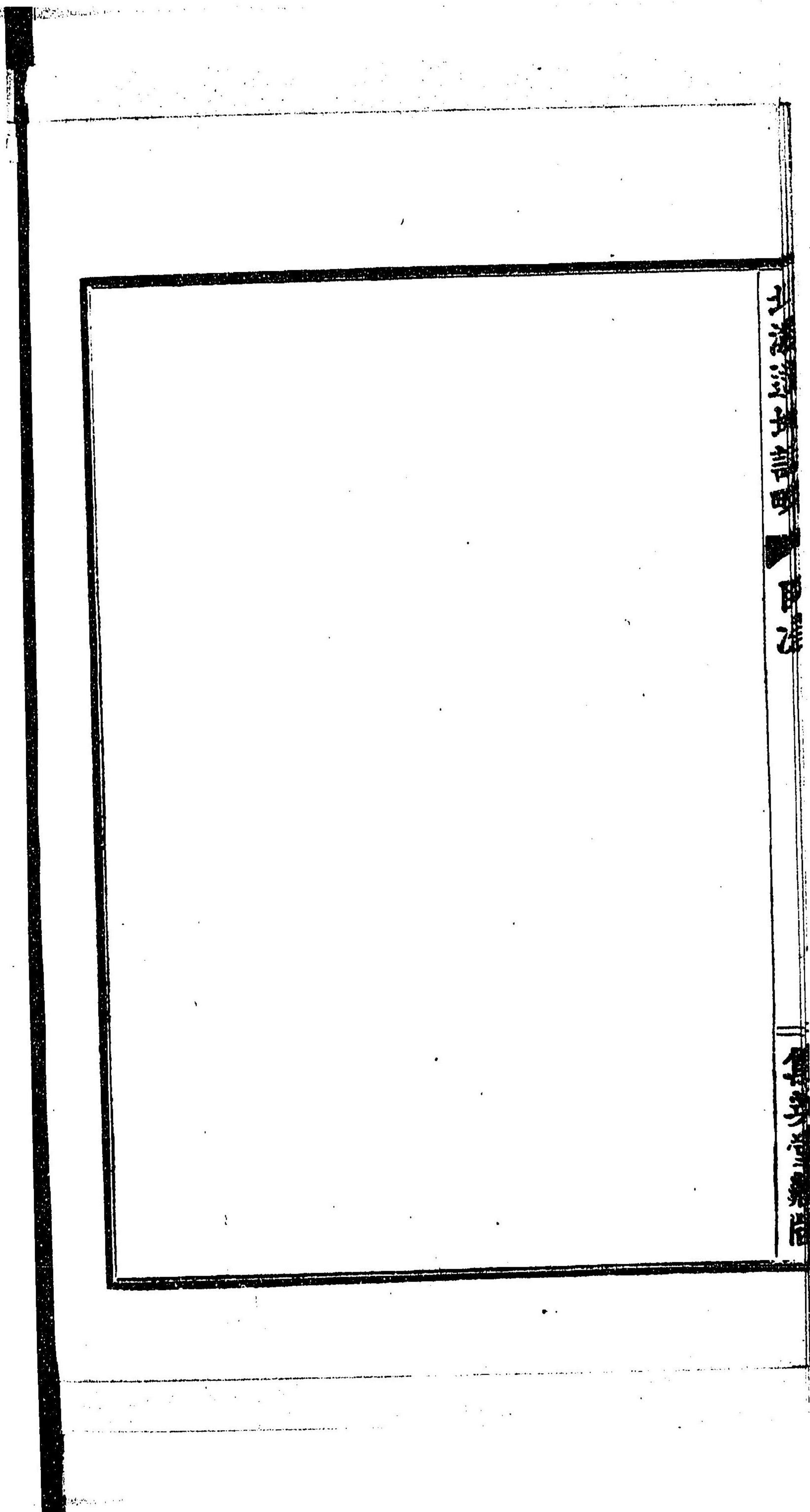
十勝國

釧路國

根室國

千島國

第三編 結論

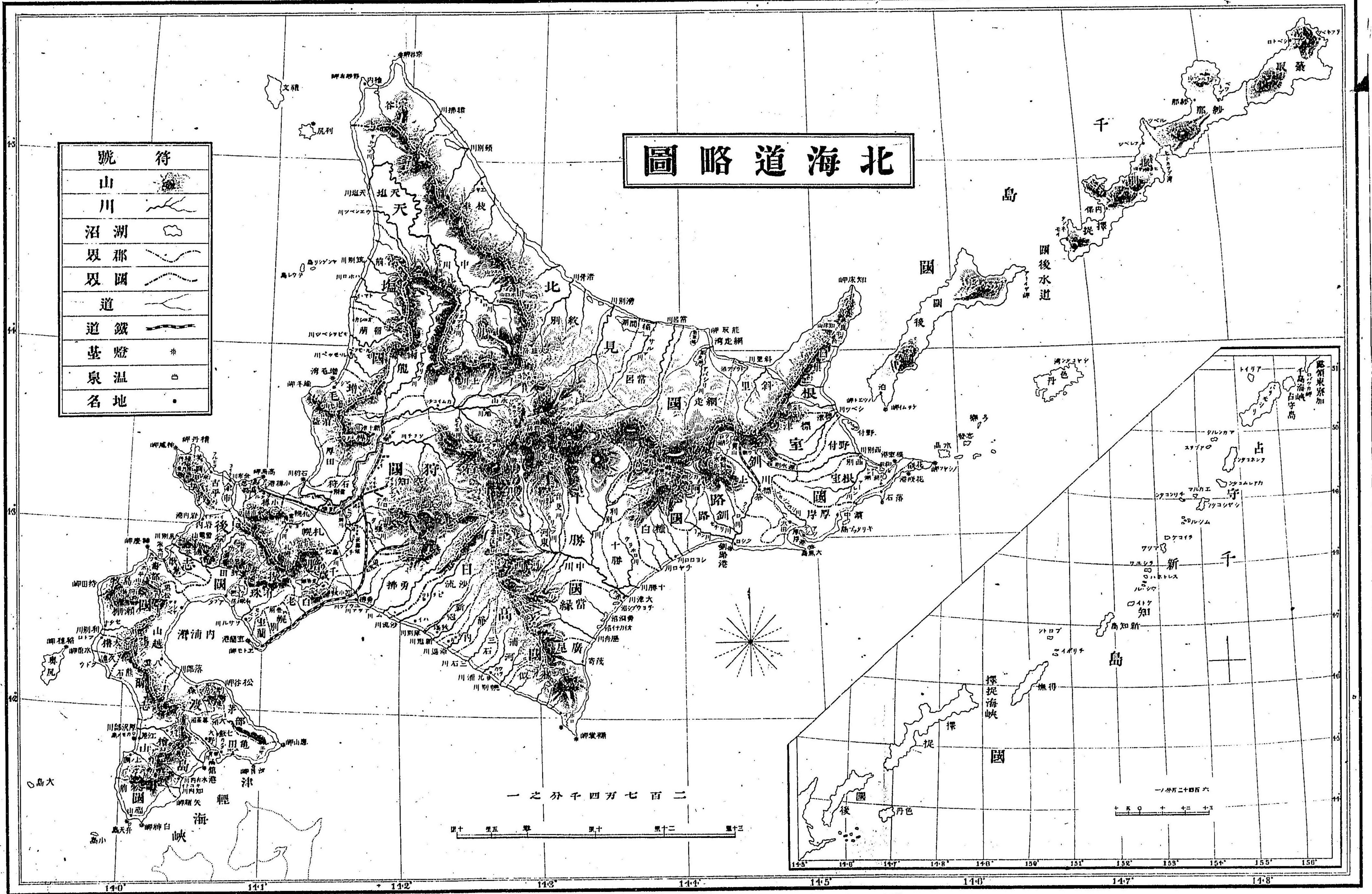


六德經卷之四

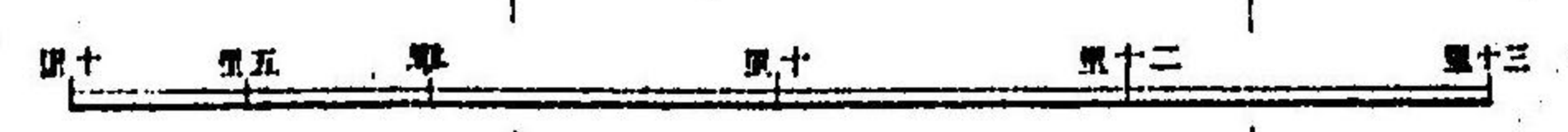
四

北海海道略圖

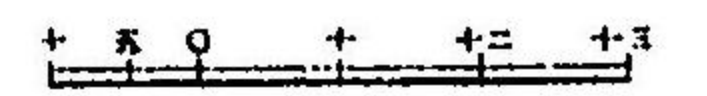
號符	
山	
川	
沼湖	
界郡	
界國	
道	
道鐵	
莖燈	
泉温	
名地	



二 百 七 十 四 千 分 之 一



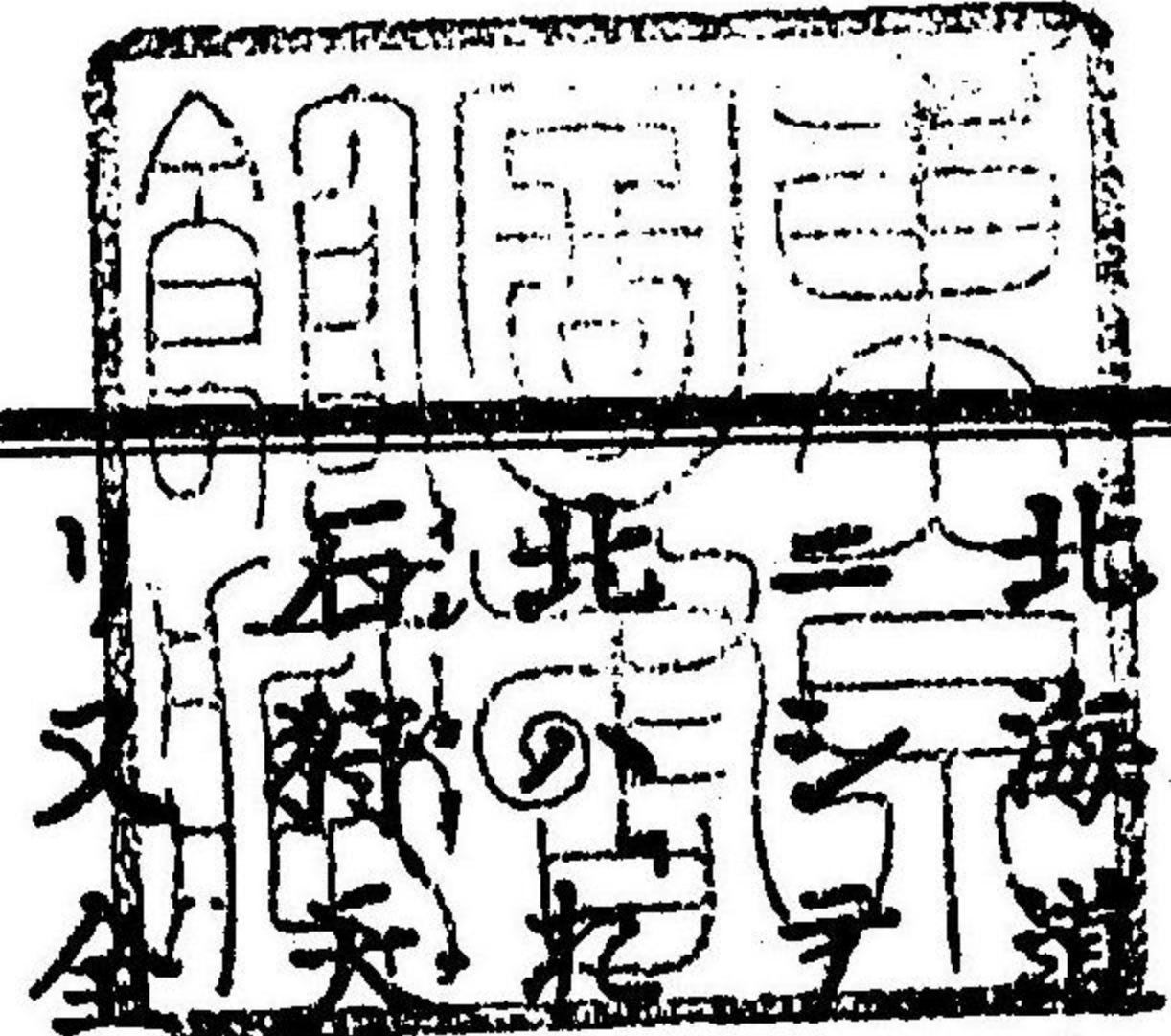
六 百 四 十 二 分 之 一



北海道地誌略

村尾元長編

第一編 總論



北海道ハ日本帝國ノ東北ニ位スル島嶼ノ總稱
 ニシテ東南ハ太平洋ニ瀕シ西ハ日本海ニ面シ
 北ノ北ニ臨ム國ヲ分ツ十一渡島後志
 石狩天鹽北見膽振日高十勝釧路根室千島是十
 リ又全道ヲ別テ本地ト千島群島ト稱セリ
 本地ハ東根室ノ納紗布岬ニ起リ西後志ノ水垂
 岬ニ至リ其南端ハ津輕海峡ヲ隔テ、陸奥ニ對

シ北端ハ宗谷海峡ヲ隔テ、露國ノ樺太ト相望
ム千島ハ根室ノ東北ニ列リタル三十二ノ島嶼
ニシテ千島海峡ヲ隔テ、露國ノ「かむさつか」ニ
對ス全道ノ面積六千九十餘方里アレドモ本地
ノ周圍ハ六百五十餘里ニ過キズ

河流

石狩川口ヨリ札幌ヲ經テ南方苫小牧ニ至ル間
ハ本道ノ東西部ヲ横斷スル平原ニシテ其内部
石狩川沿岸ノ原野ヲ總稱シテ石狩原野ト云フ
天鹽ハ天鹽川ノ左右ニ原野多ク十勝釧路及根
室ハ概ネ高原ニシテ十勝釧路ノ二大川其間ヲ

原野

流レ北見ノ東部亦高原ニ乏カラズ其他後志渡
島ハ土地狭クシテ廣原大河ナク利別、尻別、有川
三川ノ沿岸ニ數里ノ平原アルノミ

山脈

山脈ノ大ナルモノハ東部ニ日高山脈アリ襟裳
岬ヨリ北西ニ亘リ北方遙カニ北見ノ枝幸ニ連
ナル此山脈ハ本地東部全體ノ骨髓ニシテ其高
處ハ海面上六千五百尺ニ達ス千島帶ト稱スル
山脈ハ北見ノ知床ヨリ西方十勝嶽ニ向テ走り
「ねぶたて」山ニ至リテ盡ク湖水多ク温泉處
々ニ湧出ス東北山脈ハ平均ノ高サ二千尺ニシ

テ石狩嶽ヨリ西北ニ走り宗谷ニ至リテ盡ク西部ハ山嶽相連リ其大ナルモノハ渡島山脈ニシテ東南惠山岬ヨリ西北ニ走り最高四千尺ニ出ツ後志山塊之ニ亞ギま_レくかりぬ_レぶり其他ノ火山アリテ内浦ノ大灣ヲ圍メリ

風向

風ノ方向ハ冬春ニハ西北風多ク夏秋ニハ東南風多シ強風ハ海岸ニ多ク殊ニ冬春ノ間ハ風波荒シ海流ハ著シキモノニアリ千島ヨリ來リテ東海岸ト南海岸ノ東部ヲ過グルモノヲ千島海流ト曰ヒ日本海ヨリ來リテ西海岸ヲ過ギテ宗

海流

氣候

谷海峡ニ入ルモノヲ對馬海流ト曰フ

氣候ハ本州ニ比スレバ寒冷ナリト雖ドモ極暑ノ頃ハ九十度(華氏)以上ニ昇リ極寒ニハ屢零度以下ニ降ルコトアリ然レドモ人ノ健康ニ害ナキノミナラズ農牧其他ノ事業ニ適シ殊ニ土地肥沃ニシテ海陸物産ニ富ム今ヨリ後地ヲ拓キ業ヲ興サバ國家ノ利益實ニ大ナルモノアラン是ヨリ各國ニ就キ詳説スベシ

第二編 各國誌

渡島國

疆域

渡島國ハ南津輕海峽ヲ隔テ、陸奥國ニ對シ東
北内海ヲ受ケ北ハ後志國ニ接シ西日本海ニ面
ス國中ヲ分チテ函館區及龜田上磯松前檜山爾
志茅部六郡トス

地形

國中山嶽多クシテ龜田ノ一部ノミ平原ヲナシ
地味ハ概ネ肥沃ニシテ農業ニ利アリ漁業亦盛
ナレバ人口ノ密ナルハ全道第一トス

岬

惠山ハ國ノ東南隅ニアル火山ニシテ燈臺アリ
其西南ニ汐首岬アリテ函館港又其西ニ在リ白
神岬ハ最南ノ岬ニシテ燈臺アリ是ヨリ惠山岬

潮流

ニ至ルマデ陸奥ト對ス其間ヲ津輕海峽ト云フ
潮流急ナリ之ヲ呼ビテ三潮ト云フ白神岬ヨリ
北方熊石ニ至ルマデ海ニ沿ヒテ村落相連リ中
ニ江差港アリ

山嶽

駒嶽(三十二百尺)ハ内浦ノ南岸ニ立チ常ニ硫烟ヲ
噴ク其北部ヲ砂原嶽ト云フ大沼(周四十七哩)葦菜

大沼
葦菜沼

沼(一里十丁)ハ其南麓ニアリ函館森兩地ノ官道ニ當
リ風景極メテ佳ナリ遊樂部嶽(四十三尺)ハ膽振後
志ノ境ニアリ國中第一ノ高峯ナリ其脈東南ニ
亘リテ横津嶽(三百三十八尺)袴腰嶽(三百三十五尺)等相連リ遂ニ

山脈

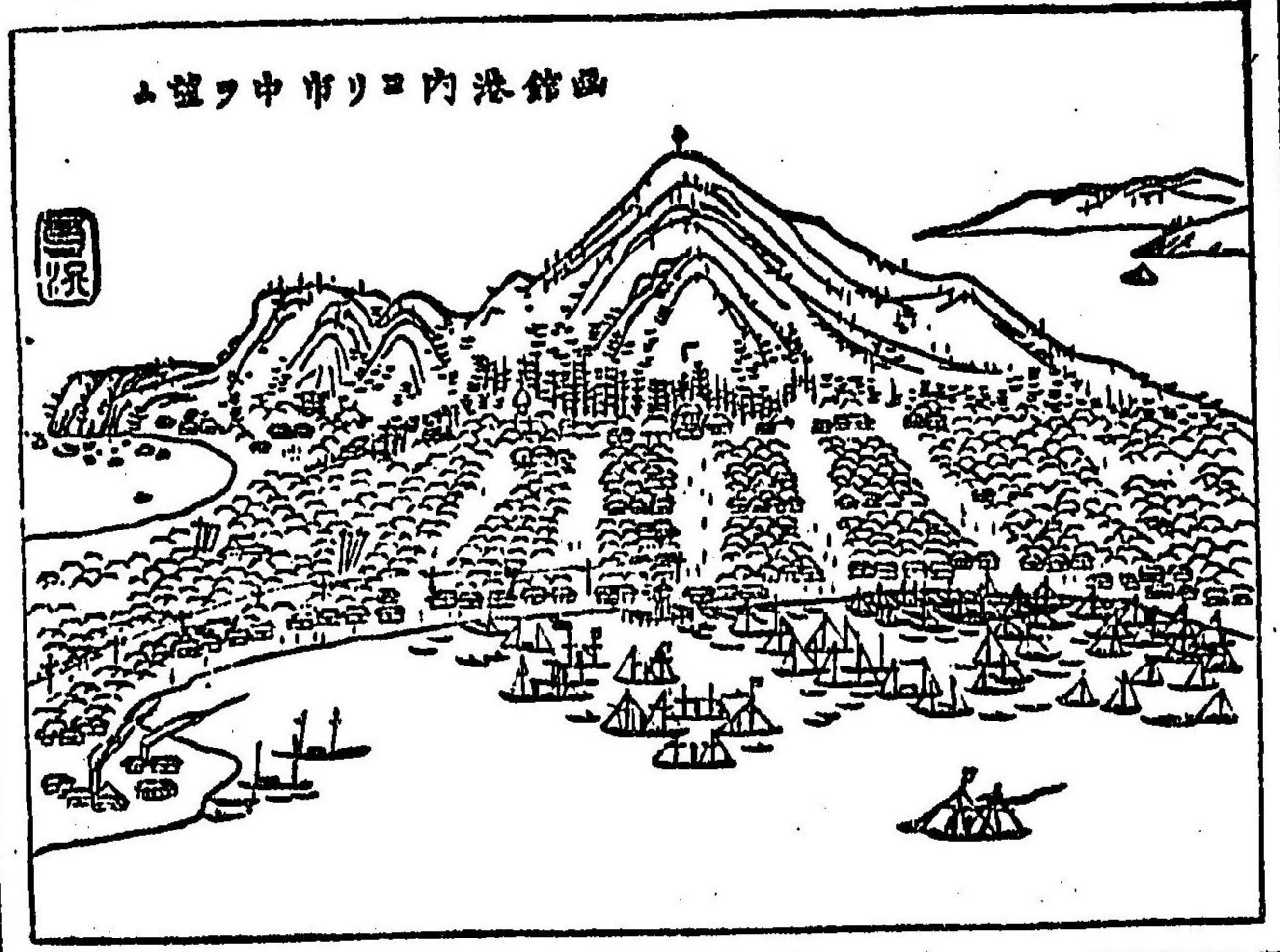
河流



惠山ニ至ル之ヲ渡島山脈ト云フ其西南二分レテ大千軒嶽(三千七百餘尺)ヲ起シ白神岬ニ盡クルモノヲ千軒山脈ト云フ國中ノ河ハ此ニ山脈ヨリ發シ厚澤部川ハ西流シテ日本海ニ入り落部川ハ東方内浦ニ注ギ有川ハ南流シテ函館灣ニ

函館

入ル其他ハ皆小ナリ函館區ハ本道第一ノ都會ニシテ五港ノ一二位シ戸數一萬三千二百餘人口六萬三百餘アリ地形狹ク長ク東北ニ延キテ龜田ニ連リ函館山孤立シテ海水深ク入り巴字形ヲナス故ニ風濤ノ患ナク船舶ノ碇泊ニ便



五稜

名邑

松前

ナレバ交易盛ニ行ハレ市街大二販ヘリ其東北
 一里餘ニ五稜郭アリ函館氷ト稱スルハ此外壕
 ニテ製スルモノナリ東南數町ニ湯ノ川アリ温
 泉アリテ浴客多シ其他龜田郡ニテハ大野七飯
 上磯郡ニテハ上磯木古内ハ皆名邑ナリ
 函館港ヨリ西方ニ赴キ知内岬ヲ越エ福島吉岡
 ノ二邑ヲ過ギ二十五里餘ニシテ福山ニ至ルベ
 シ此地ハ西ニ辨天島アリテ灣形ヲナシ船ヲ泊
 スルニ足レリ市街戸數二千四百餘人口壹萬餘
 アリ松前氏ノ居城ニシテ舊家多ク郡衙病院學

江差



校巨刹アリ西方ノ海中
 ニ大島小島アリ
 江差港ハ福山ノ北十七
 里餘ニアリ戸數三千三
 百餘人口一萬五千百餘
 鷗島前面ニ横ハリテ燈
 臺ヲ設ケ泊舟ニ便ナレ
 バ商業頗ル盛ナリ其東
 ニ鶉山道アリテ函館へ
 二十里アリ車馬ヲ通ズ

ルニ足レリ

名邑 江差ノ南二里餘ヲ上ノ國ト云フ享徳年間松前氏ノ祖武田信廣創業ノ地ナリ其他江差ノ北九里餘ヲ行クトキハ熊石村アリ爾志郡ノ名邑ナリ

物産 物産ハ鯨ヲ第一トシテ鯔、烏賊、昆布モ頗ル多シ其他鮭、鱈、鱒、鱚、鮪、鮑、海鼠、鯽、章魚及海藻アリ米ハ龜田郡最多クシテ全道ニ冠タリ雜穀ハ各郡ニ産シ鑛物ハ硫黄、砂金、砂鐵等アリ

後志國

疆域 東南ハ膽振ニ接シ南ハ僅ニ渡島ニ隣リ東ノ一隅ハ石狩ニ界シ西北ハ日本海ニ面シ奥尻島之

郡 二屬ス國中分チテ久遠、奥尻、太櫓、瀬棚、島牧、壽都、歌棄、磯谷、岩内、古宇、積丹、美園、古平、余市、忍路、高島、小樽十七郡トス

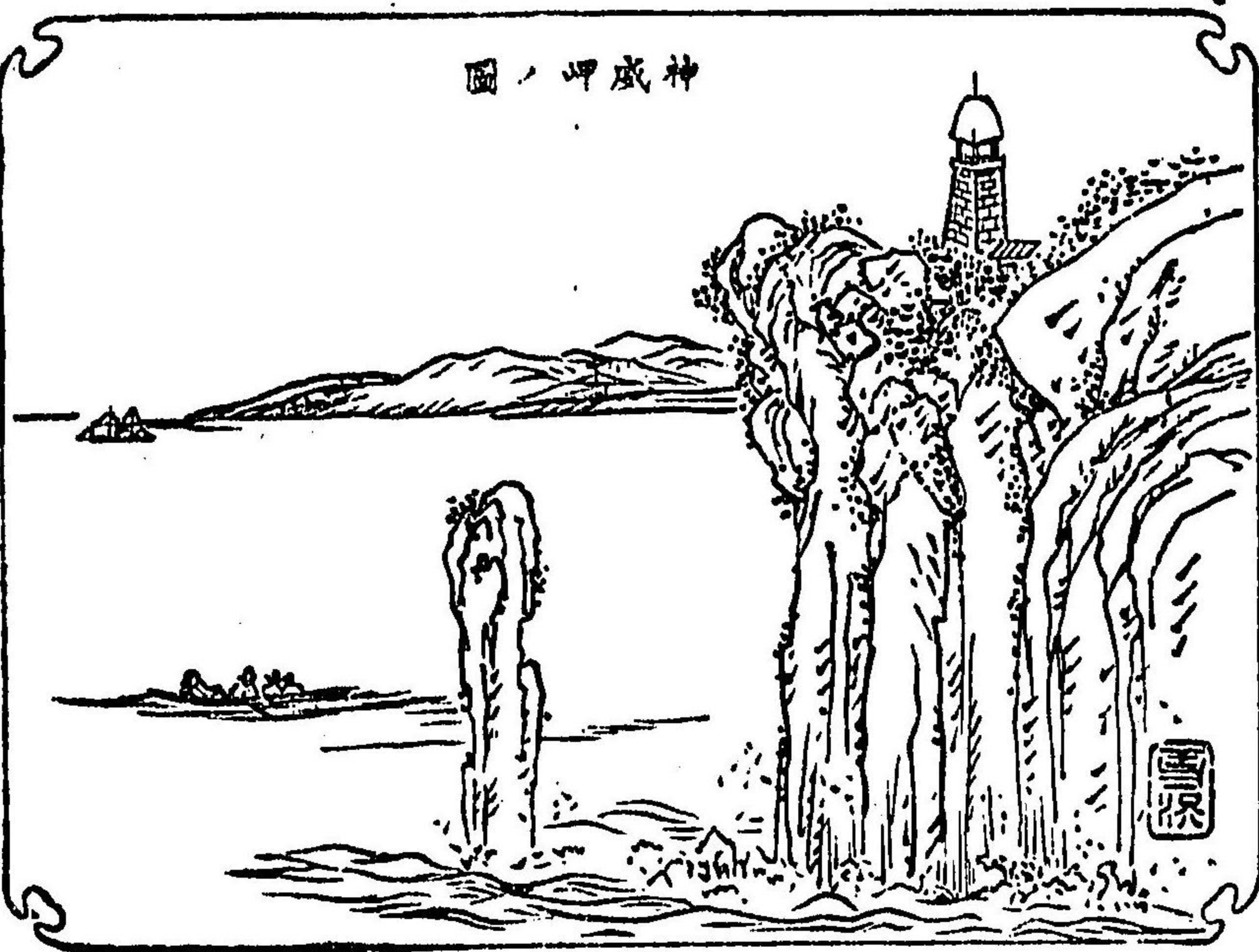
地形 地勢ハ西南ヨリ東北ニ亘リ海岸ノ出入多ク絶壁海ニ瀕シテ岬角處々ニ出ツ内部ハ山嶽相連リテ平野少ク樹林處々ニ連リ鑛物亦乏シカラズ

山脈 國ノ北部ハ後志山塊ノ諸嶽西北ニ走り突出シ

岬神威

テ積丹半島トナリ積丹
 余別ノ二山相對シテ聳
 工積丹神威兩岬トナル
 余市嶽（五千二百尺）ハ國中第
 一ノ高山ニシテ國ノ東
 北隅ニアリ雷電山ハ國
 ノ中央以北ニアリテ雷
 電岬ヲナス其南部ハ渡
 島山脈西北ニ赴キ水垂
 岬ニ盡ク

圖ノ岬威神



山嶽

河尻川別

利別川

小樽

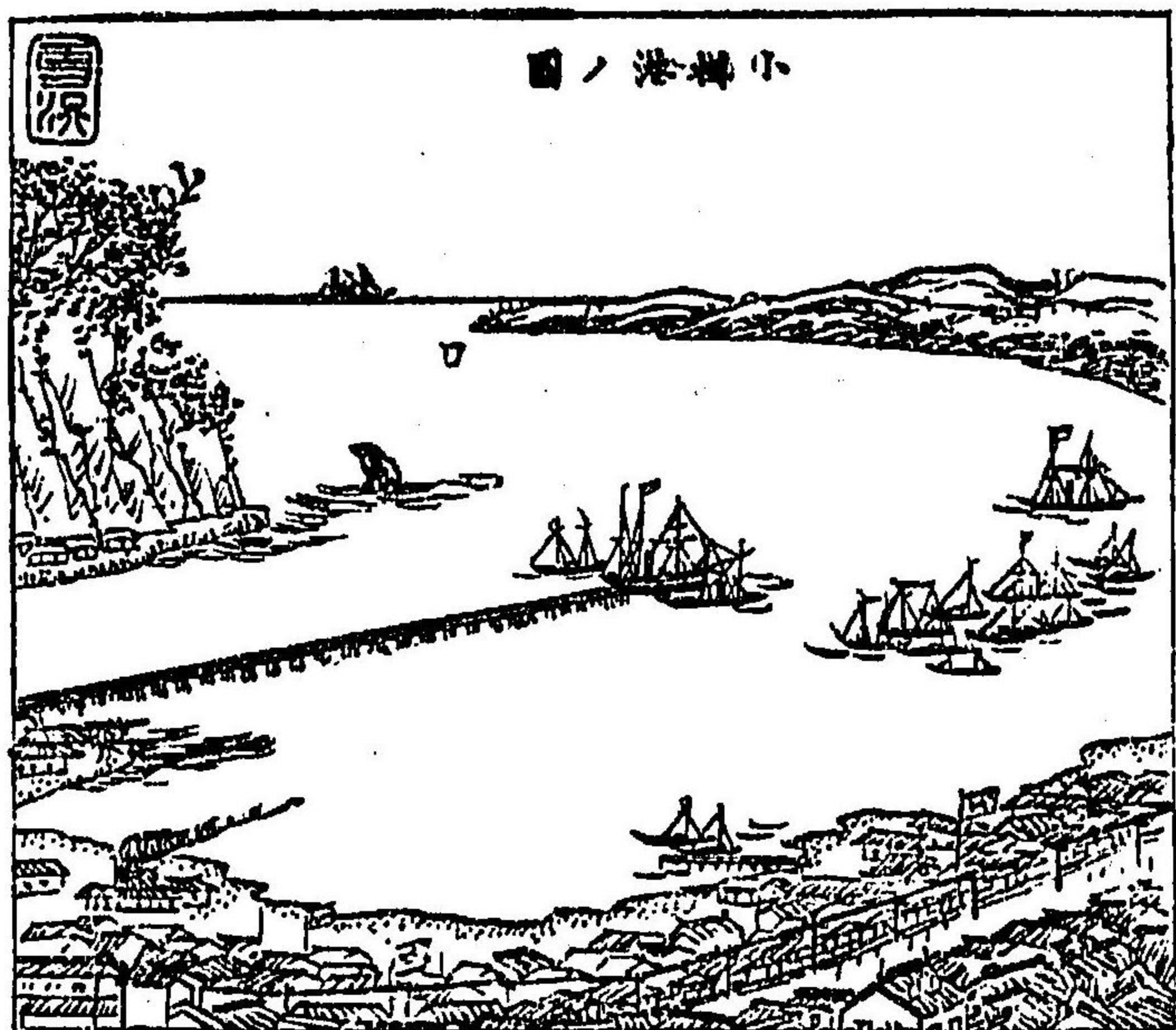
狩場嶽（五千餘尺）太平山等ハ渡島山脈ト雷電山トノ
 間ニアリテ持田辨慶二岬ヲナセリ
 尻別川（長サ三十六里餘）ハ本道西部第一ノ大川ニ
 シテ膽振國ヨリ來リ西流シテ海ニ入ル之ニ次
 グモノハ利別川（四十里）ニシテ源ヲ黒松内山ノ背
 後ニ發シ上流ハ南流シ下流ハ西ニ向ヒテ瀬棚
 ニ至リ海ニ注ク其他余市（十餘里）「ゆぶき」ノ諸川
 アリテ鮭漁ニ富メリ
 國中名邑多キガ中ニ小樽ヲ第一トス戸數六千
 二百餘人口三萬千四百餘アリ高島岬其左ニ出

北海道地誌

集英館新編

交通

余市
古平



小樽港ノ圖

テ、一灣ヲナシ水深ク船ヲ泊スルニ便ナリ市街ハ岸ニ沿ヒ丘陵ヲ負ヒ人家密ニシテ大厦多シ幌内鐵道ハ西端ノ手宮町ヨリ起リテ札幌ニ通ズ又函館、壽都、江差、増毛、稚内等ニ船舶ノ往來盛ナリ小樽ヨリ海岸ヲ西ニ行クコト五里半ニシテ余市アリ其西五里半ニ古平アリ共ニ好漁

岩内

壽都

交通

場ニシテ人家八百餘アリ余市ヨリ山道ヲ踰テ西南十一里ニシテ岩内港(千二百餘戸)ニ達ス此地モ漁利多キカ爲メ市街夙ニ開ケ近村ハ農業頗ル盛ナリ岩内ヨリ雷電峠ノ險ヲ越テ工數多ノ漁村ヲ經テ十二里餘ニシテ壽都港(千三百餘戸)ニ至ルヘシ漁業盛ニシテ早クヨリ開ケタル地ナリ是ヨリ道路ハ南ニ轉シ膽振ニ入りテ遂ニ渡島ノ森村ニ達ス

國ノ西南ニ久遠、太櫓、瀬棚ノ諸村アリ皆著名ノ地ナレトモ南方熊石ニ通ズル道路ト東方膽振

ノくぬいニ達スル新道アルノミニシテ壽都
港へハ陸運全ク絶エタリ

奥尻島三十四里ハ久遠村ノ西六里ニアリ島

形南北ニ長クシテ港灣ニ乏シ島民皆漁業ヲ專
トス

産物 沿海皆練ノ好漁場ニシテ鮭鱈亦多シ其他ハ鮃

海鼠海扇鱒鳥賊等ナリ農業ハ余市岩内最盛ニ
シテ鑛物ハ岩内郡ノ石炭利別川ノ砂金其他銅
鉛銀等アリ

石狩國

疆域 此國ハ西部ノ大國ニシテ北ハ天鹽國ニ交ハリ

東ハ北見十勝二國ニ界シ南ハ日高及膽振ニ隣

リ西南ハ僅ニ後志ニ接シ日本海ニ瀕ス國中分

郡區 千テ札幌區札幌上川樺戸雨龍空知夕張石狩厚

田濱益ノ九郡トス

山脈 東ハ千島帶及日高山脈連亘シテ十勝北見日高

三國ノ境ヲ限ル石狩嶽六百尺ハ最東ニアリテ

をふたてしけ山ハ其西ニ聳エ共ニ千島帶山脈

ノ最高峯タリぬたぶかうべハ大噴火山ニシ

テ高サ七千五百尺本道第一ノ高山ナリ夕張岳

ぬたぶかうべ

石狩川

平原

六千五百尺) 八日高山脈ヲ受ケテ國ノ東南ニ屹立
 シ眺望甚ダ美ナリ其脈北ニ連リテ石炭ヲ産ス
 ルコト多シむいね嶽(四千六百餘尺)及札幌
 嶽ハ共ニ國ノ西南境ニアリテ後志山塊ニ屬セ
 リ其北ニ増毛山ノ餘脈アリ
 内部ハ一大平原ニシテ西南ノ海濱ヨリ上川郡
 あいべつ地方ニ至ル(長凡三十七里幅五里餘)之ヲ石狩原野
 ト稱シ石狩ノ大河其中央ヲ流ル地味概ネ膏腴
 ニシテ農桑牧畜ニ適シ且交通ノ便アリ
 石狩川ハ我國第一ノ大河ニシテ源ヲ石狩嶽ニ

かむ
たい
んこ

發シ上川原野ヲ過キ西
 南ニ向ヒテ數十ノ支流
 ヲ合セ石狩驛ニ近ツキ
 北方ニ屈曲シテ海ニ入
 ル長サ百一里十三町
(河幅三百餘間)アリ中流
 深サ六七尋) 二かむいこたんノ險ア
 リ晩
 秋ニ
 至レ



石狩川口及鮭ノ圖



石狩
支流

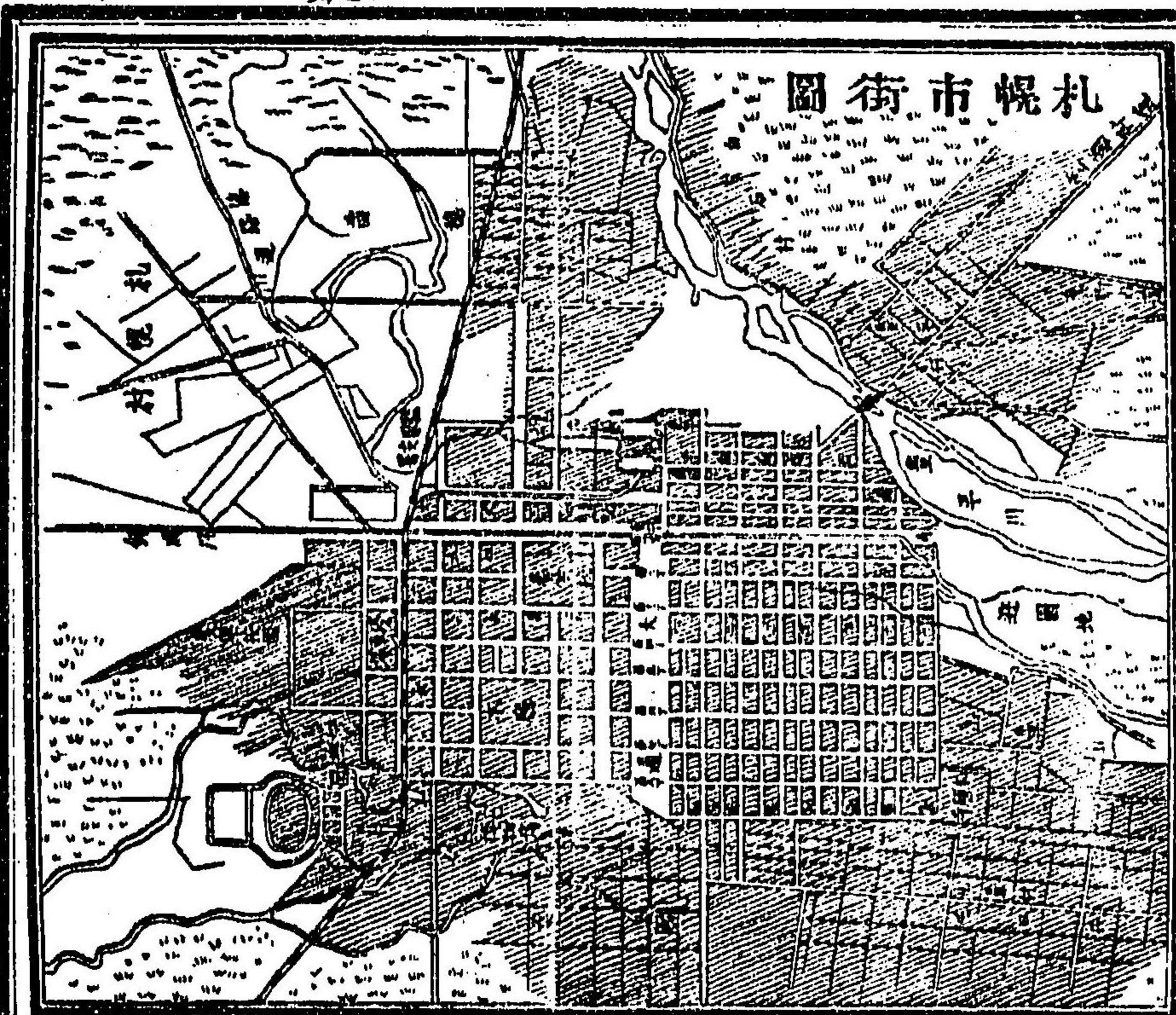
ハ紅葉激湍相映シテ風景極メテ宜シ是ヨリ下
 流ハ幅廣ク水深クシテ河口ニ至ルマテ六七
 里ノ間汽船ヲ通スベシ
 支流ノ大ナルモノヲ雨龍、空知、江別、豊平、びいど
 ノ諸川トス皆舟楫ヲ通スヘシ雨龍川ハ雨龍郡
 ノ山中ニ發シテ南流シ水深クシテ緩シ空知川
 (四十里)ハ十勝國境ヨリ西北ニ流ル水清クシテ急
 二河口ノ幅凡六十間アリ江別川ハ膽振ノ千歳
 川ト夕張嶽ヨリ出ツル夕張川トノ合流ニシテ
 水量頗ル大ナリびいど川ハ上川離宮地ノ側ヲ

道路

札幌

流レ豊平川ハ札幌區ノ東南ヲ過キ共ニ二十餘
 里ヲ流レ河幅四十餘間アリ
 石狩河口ノ近傍ハ砂濱ナレトモ北方ニ至ルニ
 從ヒ絶壁多ク濃晝山道アリ雄冬岬アリ僅ニ道
 路ヲ通スルノミ
 札幌區ハ國ノ西南ニ位シ開拓使ノ時本廳ヲ此
 ニ置キ使廢セラレテ札幌縣廳ヲ置キ廢縣後北
 海道廳ヲ置キテ現今ニ至レリ戸數五千餘、人口
 二萬六千餘アリ市街ハ端正砥ノ如ク大通アリ
 テ市街ヲ南北ニ分チ又創成川ヲ以テ東西ニ分

温泉 屯田兵村



ツ商店ハ概ネ大通ノ南ニアリ官衙諸學校病院會社ハ多ク北ニアリ其近傍ニ札幌神社中島遊園地真駒内種畜場屯田兵村等アリ又西南七里ノ山中ニ定山溪ノ温泉アリ屯田兵ハ兵農相兼

名邑 交通

又ルノ制ニシテ兵村ハ札幌郡石狩郡空知郡上川郡等ニアリ其開墾ハ規律正シクシテ進歩亦速ナリ同兵ノ司令部ハ札幌ニ置カル集治監ハ樺戸郡月形村(分)空知郡市來知村(分)ニアリ石狩河口ハ札幌ノ北方七里ニアリテ有名ナル鮭漁場ナリ江別村ハ札幌ノ東北五里半ニアリ水陸運輸ノ便アリ其東北五里餘ニ岩見澤村アリ鐵道ノ交叉スル所ニシテ小都會ヲナセリ其北方十一里ヲ空知太トス同地ヲ過キテ東北ニ進ムコト十二里半ニシテ上川郡ニ達ス鐵道ノ

計畫アリ此地ハ全道ノ中央ニシテ他日一都府ヲ立テ離宮ヲ設ケラル、宣達アリキ

物産 農産ハ雜穀ノ産出極メテ多ク大麻、亞麻ハ製麻ノ原料ニ供シ甜菜ハ製糖ニ用フ藍ト米トハ近年著シク作付ヲ増加セリ



北山村色田ノ圖

水産ハ石狩川ノ鮭ハ收穫全道ニ冠タリ其他鱈、鱒、鱈、海鼠、昆布等ナリ

石炭

此國ハ炭層區域ノ廣大ナルコト全道ニ冠タリ其主ナルモノヲ空知、夕張、上歌志内、幾春別、幌内、下歌志内トス就中空知炭山ヲ第一トス又硫黄、石油アリ

天鹽國

疆域 東北ハ北見ニ接シ南ハ石狩ト界シ西ハ日本海ニ瀕ス國中分チテ増毛、留萌、苫前、天鹽、上川、中川ノ六郡トス

地形

山河
鹽流

天鹽
支流

森林

北海... 集英堂

中央以南ハ増毛山脈聳エ、江たいべつ嶽暑寒別嶽(一名増毛山)等ノ峻峯アリ餘脈西走シテ雄冬岬トナル海岸ハ屈曲ニ乏シク泊舟ノ地少シ石狩ノ境ニモ山脈連リテ東南隅ノ天鹽嶽(四百九十尺)ニ至ル此山ハ三峯鼎立シテ頂上ハ七月ニ至レド猶ホ殘雪アリ其山脈ハ北見ノ境ヲ限ル總稱シテ東北山脈ト云フ
天鹽川ハ源ヲ天鹽嶽ニ發シテ西北ニ流レ下流ニ至リ西折シ又南流スルコト二里ニシテ日本海ニ入ル長サ七十八里河幅二百間石狩川ニ亞

ケル大河ナリ水緩クシテ數十里ノ間小汽船通スルヲ得レドモ河口ハ風浪荒クシテ泊舟ニ便ナラス
支流ハなよろ川(十餘里)ヲ第一トス河口ヨリ上流四十餘里ノ處ニ注クニ川ノ間ハ地形三角形ヲナシ地味膏腴ニシテ樹木繁茂シ此國第一ノ殖民地ナリけぬぶち川(十餘里)ハ之ニ次ケル支流ナリトス
天鹽川ノ外日本海ニ注ゲル河流甚タ多シ此國ハ全道中最樹木ニ富ミ沿海ノ山脈ハ蝦夷

七... 十五

名 邑



松叢生シ天鹽川兩岸ノ
 諸山及原野ヨリ出ツル
 木材頗ル多シ其種類榆
 檜、柵、楓、山胡桃、刺楸、白楊、
 樺等最多ク且密生セリ
 國中ノ名邑ハ増毛(戸七數)
 三四十、百人餘ヲ第一トス
 此地ハ小樽以北ノ要港
 ニシテ郡役所、學校、病院
 等アリ港口北ニ向ヒ小

島 嶼

樽ヨリ北方稚内及利尻
 禮文ニ往復スル汽船常
 ニ出入スルヲ以テ商業
 年ニ盛ナリ港口ニ燈臺
 ヲ設ク留萌ハ増毛ニ次
 ケル要港ニシテ北六里
 餘ニ鬼鹿アリ其北五里
 ヲ苦前トス
 燒尻(周三四里)天賣(周三四里)
 五丁(八)苦前郡ニ屬シ西

圖ノ鯨及業漁鯨



海中ニ峙ツ小島ナリ沿海漁利多キヲ以テ其名
 夙ニ著ハレタリ
 物産ハ鯨、鮭、鱒、鱈ヲ第一トシテ鮫、海鼠、昆布之ニ
 次ク

北見國

疆域 西ハ天鹽、石狩ニ界シ南ハ十勝、釧路、根室ニ接シ
 北ノ一方ハ、れこつく海ヲ受ケ西北ヨリ南東ニ
 延長セル國ニシテ利尻、禮文ノ二島西北海中ニ
 アリテ之ニ屬ス國中分チテ宗谷、枝幸、紋別、常呂、
 網走、斜里、利尻、禮文ハ郡トス

地形

港灣



宗谷岬ハ西北端ニ出テ、露
 嶺、樺太島ノとろ岬ト海峡
 二十五海里ヲ隔テ、南北
 ニ相對ス之ヲ本島ノ北端
 トス知床岬ハ東端ニアリ
 テ半島ヲナス能取岬ハ國
 ノ中央以東ニアリ海濱多
 クハ砂濱ニシテ間々丘狀
 ヲナシ河口ヲ塞ク所アリ
 泊舟ノ地ハ稚内、網走、枝幸

山脉

ノ三港アルノミ山脉ハ國境ニ連レトモ其險ナ
ルモノハ石狩ノ境ニアルにせいかうしゆへ常
呂川上流ノ諸山及根室ノ境ナル斜里嶽(五千四
百尺)及硫黄山(山嶽等
アルノミ)

河流

河流ノ最モ長キモノハ常呂川(三十五
里)ニシテ國
ノ中央ヲ流レテ海ニ入ル其西北ニ湧別(三十
里)別(三十
里)ノ諸川アリ東南ニ網走川(二十
二里)アリ北
流シテ網走湖(周四十
二里)ニ入ル湖畔ハ丘陵ニシテ
沃野アリ湖中水藻多クシテ綠色ヲ呈シ河水又

平原

出テ、網走港ニ入ル河
幅常呂川ヨリ大ナリ東
側ニ斜里川(十六
里)アリ
諸川ノ沿岸ニ平原多シ
其中地味肥沃ニシテ最
モ農耕ニ適スルモノヲ
常呂網走ノ兩原野トス
湖水ハ沿岸ニ多ク其最
大ナルモノヲ猿間湖(周
四十里)トス東北ハ海水ニ

湖沼



圖ノ湖間猿

通スルヲ以テ其水常ニ鹹シ其東ニ能取湖(周里四)アリ其他湖沼甚多シ

道路

道路ハ從來海岸ノミニアリテ交通不便ナルヲ以テ戸口多カラサリシカ近コ口石狩ノ上川ニ通スル中央道路成リ驛ヲ置キ又集治分監ノ設アリ農商漸ク移住スルヲ以テ數年ヲ出スシテ村落相連ルニ至ルベシ

名邑

網走港ハ小市街ヲナシテ郡役所アリ海陸共ニ四通八達ノ要路ニ當レリ稚内港ハ野紗布岬ノ東岸ニアリテ宗谷ト相對ス元一漁場ナリシカ

利尻島

郡衙移轉以來船舶常ニ増毛及小樽諸港ニ往來シ戸數殆ント一千ニ達シ國中第一ノ名邑トナレリ枝幸港亦漸ク盛ナルニ至レリ

禮文島

利尻島ハ宗谷郡ノ西日本海中ニ在ル火山島ニシテ周回十五里半島峯(高サ五千三百尺)圓錐形ヲナシ眺望頗ル美ナリ住民五千ニ近ク海産多シ西北六海里ヲ隔テ、禮文島(周里四十)アリ亦海産ニ富メリ

物産

物産ハ鯨、鮭、鱒、海鼠、昆布、鱈等産出極メテ多ク、礦物ハ硫黄ヲ主トシ其他ハ砂鐵、石炭等ナリ

膽振國

疆域 西北ハ石狩後志二國ニ界シ東ハ日高二隣リ南
 ハ海ヲ受ケ内浦灣ヲ抱キ西南ノ一隅僅ニ渡島
 郡 二接ス國中分チテ山越、虻田、有珠、室蘭、幌別、白老、
 勇拂、千歳ノ八郡トス

地形 地勢ハ東西ニ長ク南北ニ短ク中部ニ後志山塊
 起伏シテ南ニ延キ繪鞆岬トナリ渡島ノ松谷岬
 ト相對シテ内浦灣ヲナス此山脈ニ由リテ地勢
 東西ニ分ル西部ニハ肥沃ノ原野多ケレトモ東
 部ハ地勢卑濕ニシテ火山灰ヲ以テ掩ハル海岸

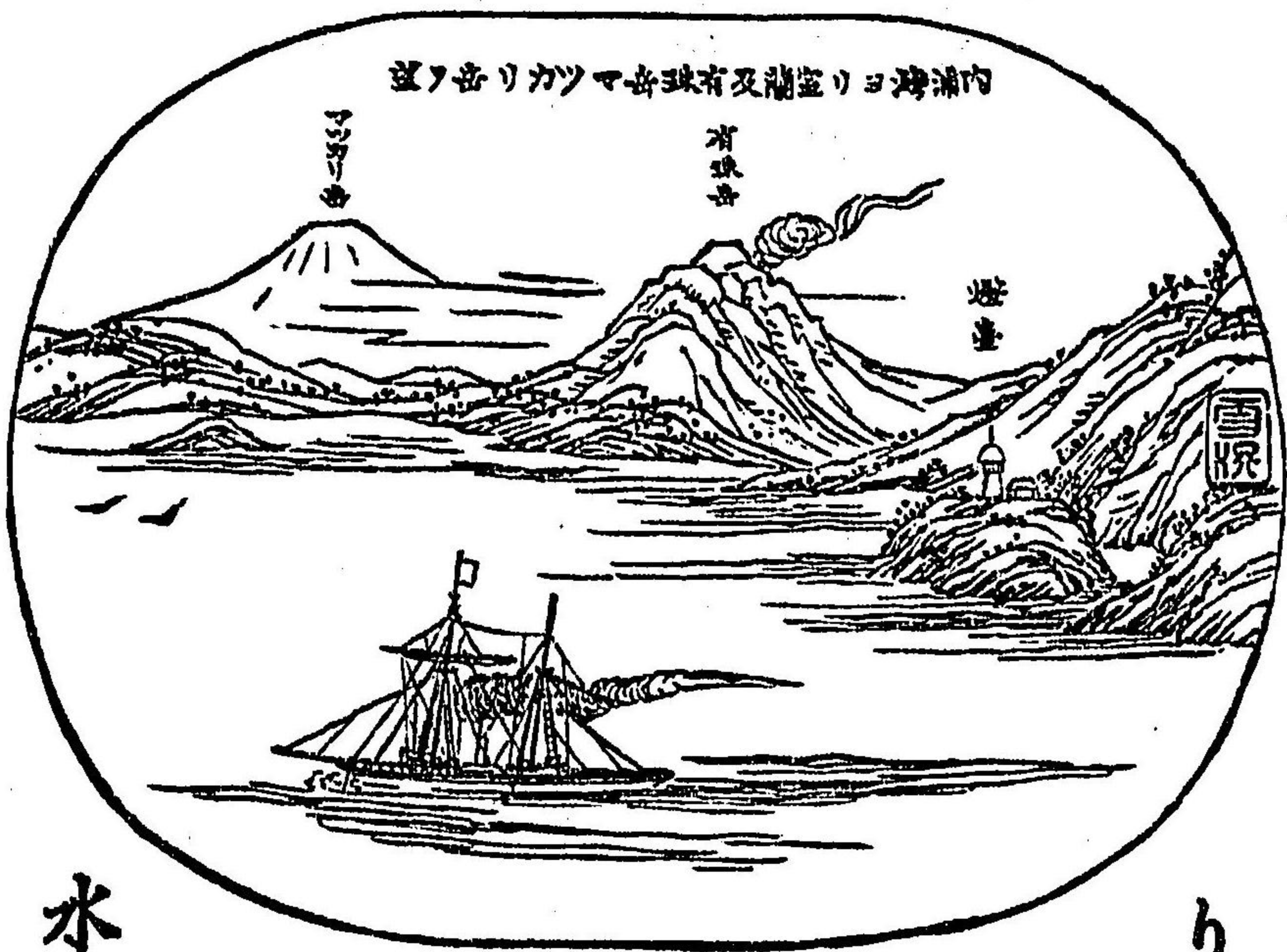
山脈 ハ概ネ一帯ノ沙濱ナリ
 まくかり嶽〔六十七尺四百〕ハ本道西部第一ノ高峯ニ
 シテ蝦夷富士ノ稱アリ後志嶽〔三十三尺〕いわをぬぶ

り〔三百餘尺〕有珠嶽〔千九百〕相對立シ共ニ火山ニシ
 テ有珠嶽ノ硫黄ハ明ニ認ムベシ樽前〔二百餘尺〕惠
 庭〔四百餘尺〕ハ支笏湖ヲ挾ミ登別山〔三百餘尺〕ハ幌別

温泉 郡ニアリ亦有名ノ火山ナリ登別山下ニ温泉ア
 リテ浴客多シ其他中部ノ山脈ニ三千尺以上ノ
 高峯乏シカラス

河流 尻別川ハ支笏湖ノ西北ニ發シ西流シテまくか

湖沼



り嶽ノ麓ヲ繞リ後志ニ入
ル其沿岸ニ沃野アリ長
流川(十七里)亦西部ノ大川
ナリ東部ニハ鵠川(三十里)
ヲ第一トシテ厚間勇拂
ノ二川之二次キ共ニ舟
運ノ便アリ其他ノ諸川
中千歳川較々大ナリ北
流シテ石狩國ニ入ル其
水源ニ支笏湖(周四十二里)ア

港灣

リ中流ニ長都馬追ノ二沼
アリ洞爺湖(周四九里)ハ有珠
嶽ノ北ニアリ水深クシ
テ冬日モ凍ルコト十ク
中央ニ四島アリテ眺望
極メテ佳ナリ
室蘭港(戸數凡五百八十)ハ
繪鞆岬西北ニ出テ、大
黒島其口ニ横リ四時風
浪ノ患ナシ市街ハ西南岸



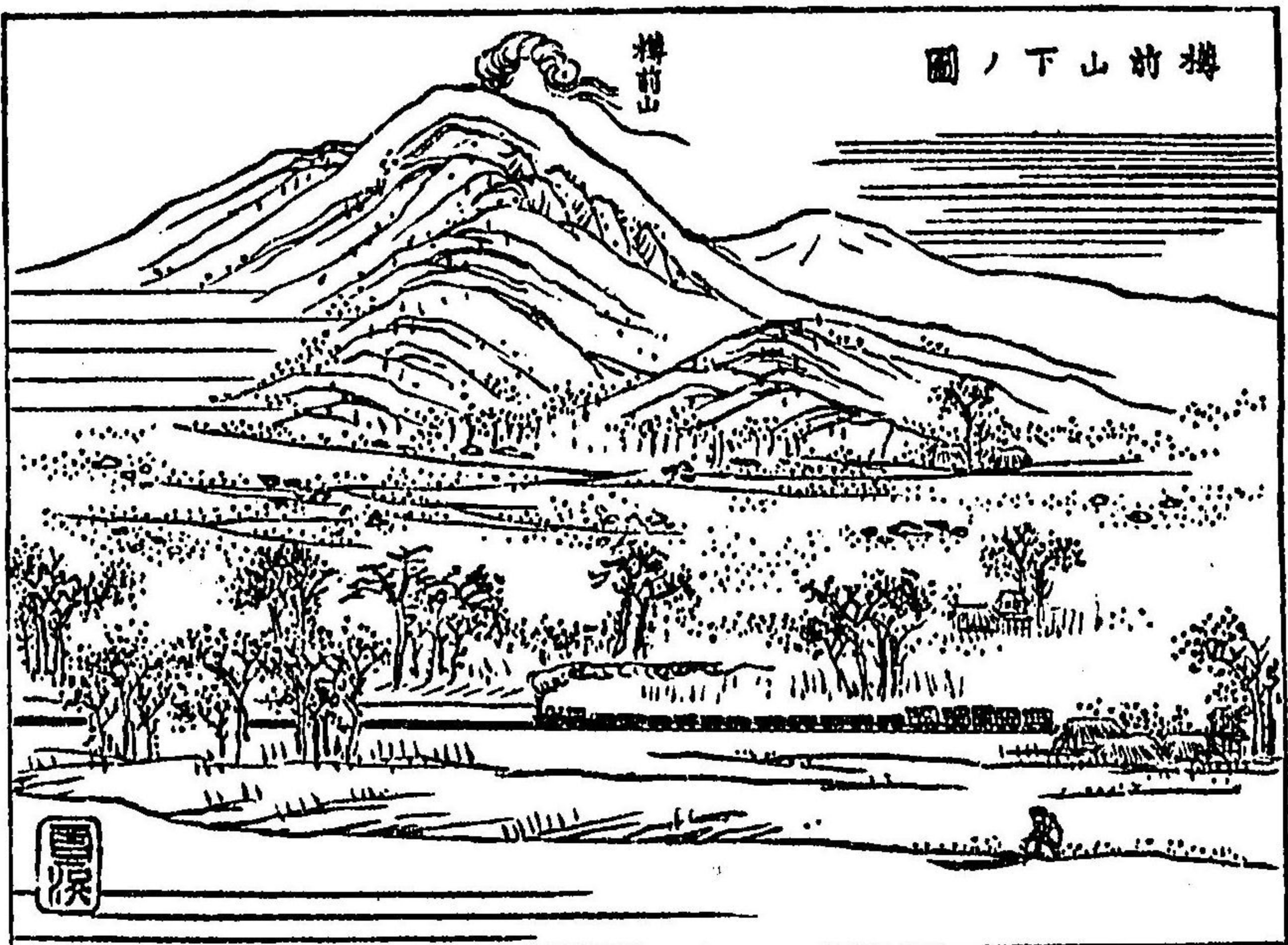
鐵道

ニアリ第五區軍港ノ豫定地タリ鐵道ハ國道ニ
 沿ヒテ東北苦小牧ニ至リ漸ク北ニ向ヒ追分驛
 ニ至リ支線分レテ夕張炭山ニ達スルモノアリ
 本線ハ岩見澤ニ至ル國道ハ苦小牧ヨリ西北ニ
 折レ島松驛ニ至ル十里之ヲ札幌街道トナス、
 室蘭港ノ北凡ハ里ニシテ紋鱈ニ至ルヘシ此地
 ハ國中ノ名邑ニシテ伊達氏ノ舊臣ト共ニ移住
 セシ處ナリ更ニ内浦ノ岸ヲ巡ルトキハ有珠灣
 アリ後ニ有珠嶽ヲ負ヒ前ニ小灣ヲ擁シ風景畫
 クカ如シ此田村ヲ過キテ禮文華嶺ヲ越工長万

紋鱈

八雲

物産



部村ヲ經テ更ニ八里ヲ
 行クトキハ八雲村ニ達
 スヘシ此村ハ徳川氏ノ
 殖民地ニシテ渡島ニ近
 シ
 此國ノ水産ハ鯉ヲ主ト
 シ鮭亦各郡ニ産ス其他
 鯨、鮪、鱈、海鼠、昆布等ア
 リ農産ハ紋鱈及八雲地
 方ノ雜穀輸出額少カラ

ス鑛物ハ硫黄最多シ

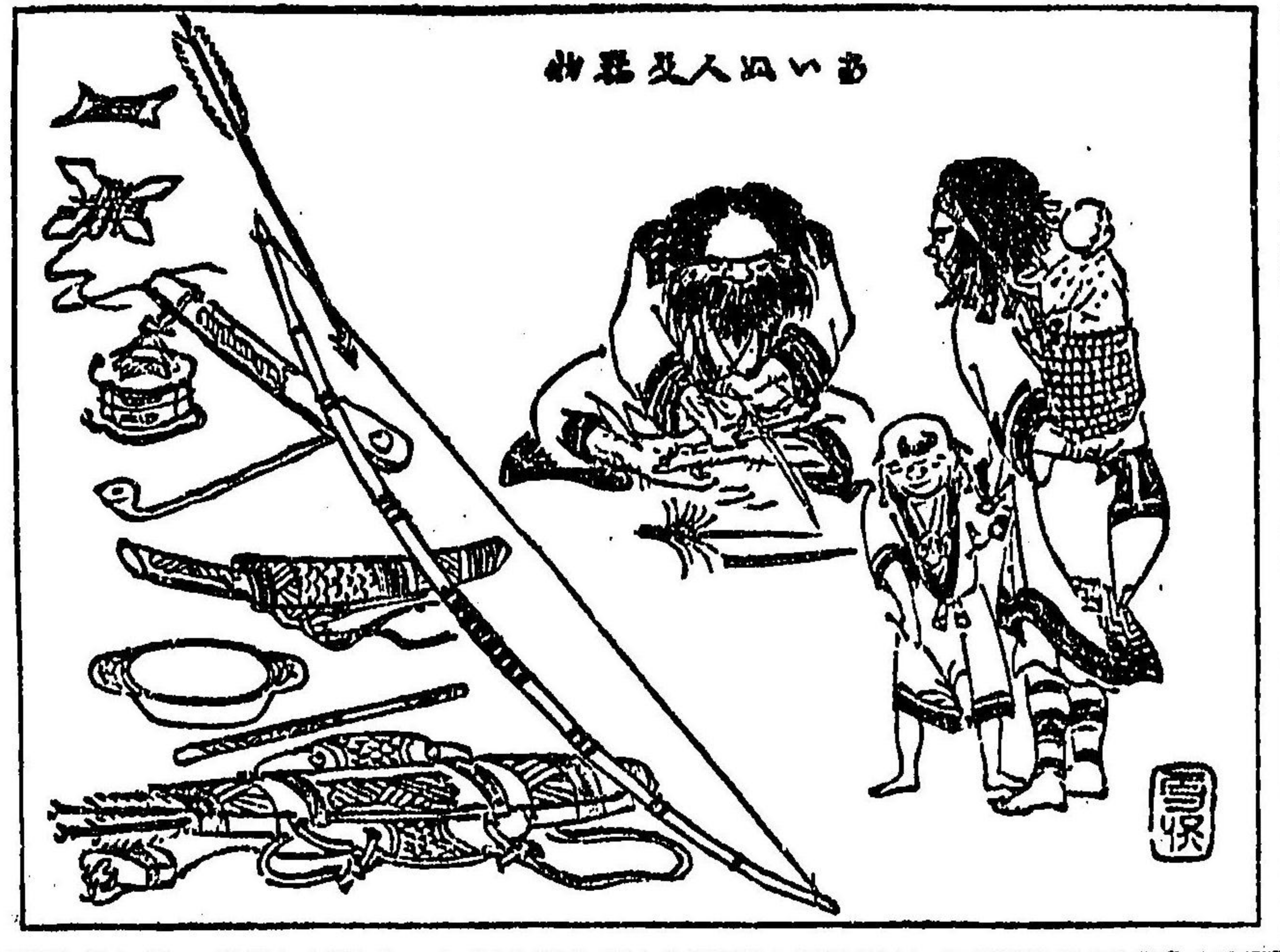
日高國

疆域 東北ハ日高山脈ヲ以テ十勝國ニ隣リ北ノ一隅
 僅ニ石狩ニ接シ西ハ膽振ニ界シ南ハ太平洋ニ
 郡 瀕ス國中分チテ沙流、新冠、靜内、三石、浦河、様似、幌
 泉ノ七郡トス

海岸 海岸ハ一帯ノ平沙ニシテ屈曲極メテ少ク從テ
 良港ナシ唯東南ノ一角海ニ斗出ス襟裳岬是十
 里燈臺ノ設アリ

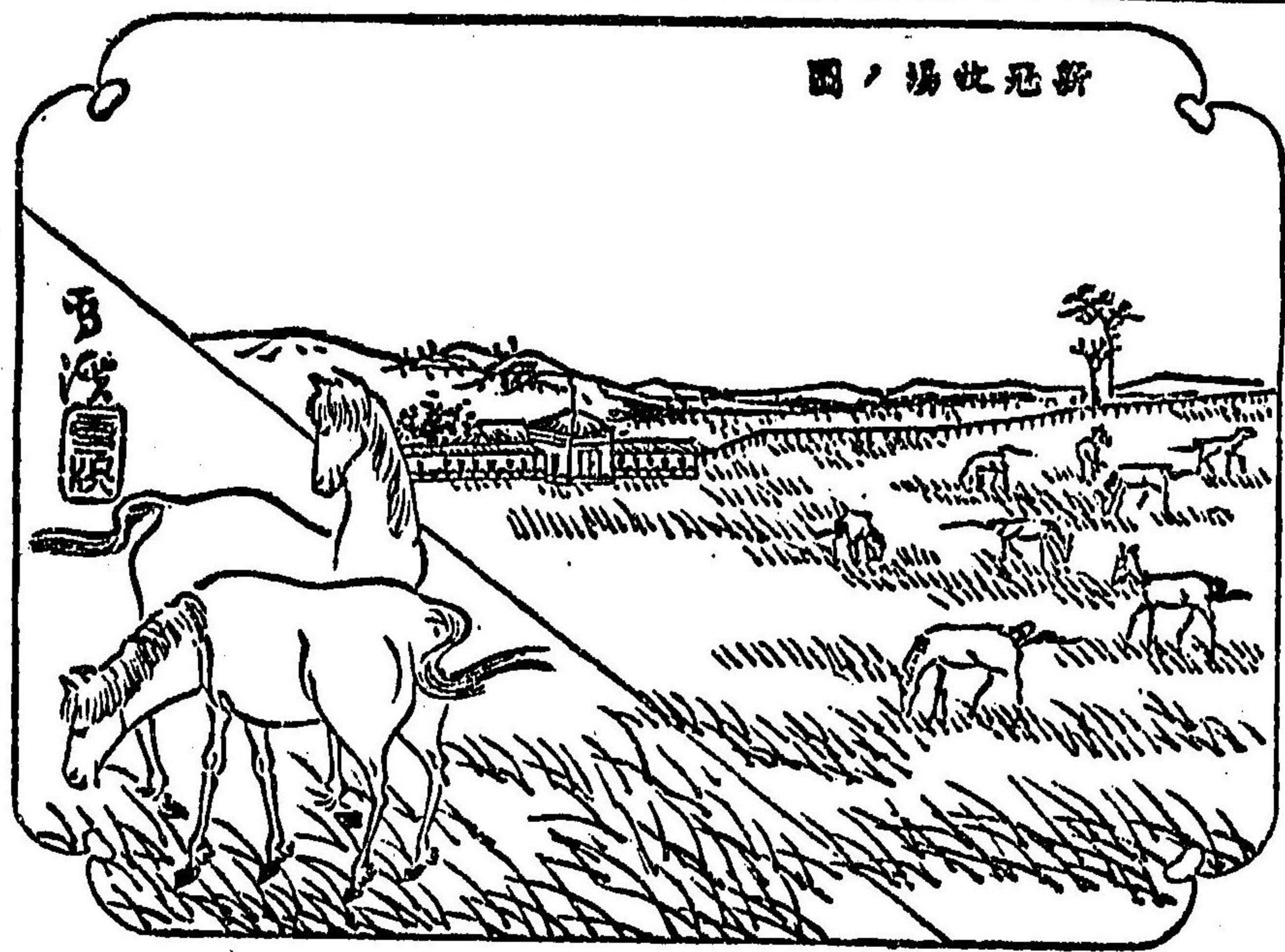
山脈 日高山脈ハ南襟裳岬ヨリ西北ニ走リ千島帶山

河流 諸川皆日高山脈ニ發シ
 テ西南ニ流レ殆ト相平
 行シテ海ニ入ル其最大
 テ盡ク
 丘陵トナリ海岸ニ至リ
 行シテ河谷ヲ挟ミ漸ク
 ス其他數多ノ高峯相平
 べけれべつ嶽(四千七百餘尺)
 ルモノヲ神威嶽(四千九百餘尺)
 脈ニ會ス山嶽ノ高大十



ぬあ
人い

新冠此場ノ圖



ナルモノヲ沙流川（三）トス此沿岸ニあいな人ノ部落甚多ク平取村（六）最大ナリ此地ニ源義經ノ祠アリ漆退川ハ之ニ亞ク其他厚別川新冠川元浦川幌別川等稍大ナレトモ上流ニハ斷崖多クシテ水源ヲ知り難シ

牧場

新冠郡ノ高原ハ耕牧ニ適ス明治五年開拓使牧馬數百頭ヲ畜フ本道ノ馬ハ體小ナレトモ強健ニシテ能ク勞役ニ堪フルヲ以テ名アリ

名邑

名邑ハ浦河幌泉ノ二村ニシテ浦河ハ人口一千餘郡衙、學校、病院等アリ幌泉ハ人口浦河ニ均クシテ區裁判所アリ兩邑ノ距離僅ニ十里餘ナレトモ様似山道ノ險アルヲ以テ交通稍不便ナリ二村共ニ泊舟ニ足り船舶多クハ函館ヨリ往來ス沿岸諸村ノ官道ハ皆海岸ニアリテ多クハ平易ナリ其他靜内郡ハ農業最盛ナリ

あいにぬ
舊蹟

此國ハ「あいにぬ」人ノ部落ヲナスモノ凡六千人アリテ全道ニ冠タリ故ニ處々ニ「あいにぬ」人ノ舊蹟アリ

物産

此國ノ物産ハ牛馬ノ外昆布ヲ主トス大抵長切ニ製シテ海外ニ輸出ス鮭ト鮭ハ各郡ニ産シ鱈モ産スレトモ甚多カラス農産ハ雜穀ヲ主トス

十勝國

疆域

全道第一ノ大國ニシテ西ハ日高國ニ隣リ東ハ釧路國ニ界シ北ハ北見石狩兩國ニ界シ東南ハ大平洋ニ面ス國中分チテ廣尾當縁十勝中川河

郡

西河東上川ノ七郡トス

地形

地勢西ハ日高山脈相連リテ北ハ千島帶山脈巍々トシテ聳エ其南ニ大原野アリ長サ二十五里其幅殆ンド之ニ均ク日本第二ノ廣野ナリ之ヲ

原野

十勝原野ト云フ氣候温和ニシテ地質ハ高燥肥沃ナリ唯交通未タ便ナラズシテ人口ノ最少キ

海岸

ヲ憾ム海岸ハ灣曲稀ニシテ泊舟ノ地ナク西南端ノ地ノミ僅ニ岩石ノ突出ヲ見ルノミ

山脈

千島帶山脈ノ最高キモノヲ「どんらう」(六千七百尺)「おふたて」(六千五百尺)及十勝嶽(九千七百尺)トス其東

河十勝川流

南ハ音更山(六千九百尺)にべとつ嶽(六千七百尺)うへへさ
んげ(五千六百尺)ぬぶかうぬぶり等ノ諸山ニシ
テ共ニ國ノ中央以北ニアリ
日高山脈ノ東側ニアリテ著シキ峯ハさつあい
岳(六千三百四十八尺)ほろり岳(五千九百尺)ニシテ
びばい岳(五千九百尺)芽室岳(五千六百尺)さほろ岳
等は稍北ニアリ
廣尾樂古歷舟ノ三山ハ其南ニアリ東部ハ丘陵
多ケレトモ高山ナシ
十勝川ハ本道三大河ノ一ニシテ源ヲ十勝嶽ニ

十勝支流

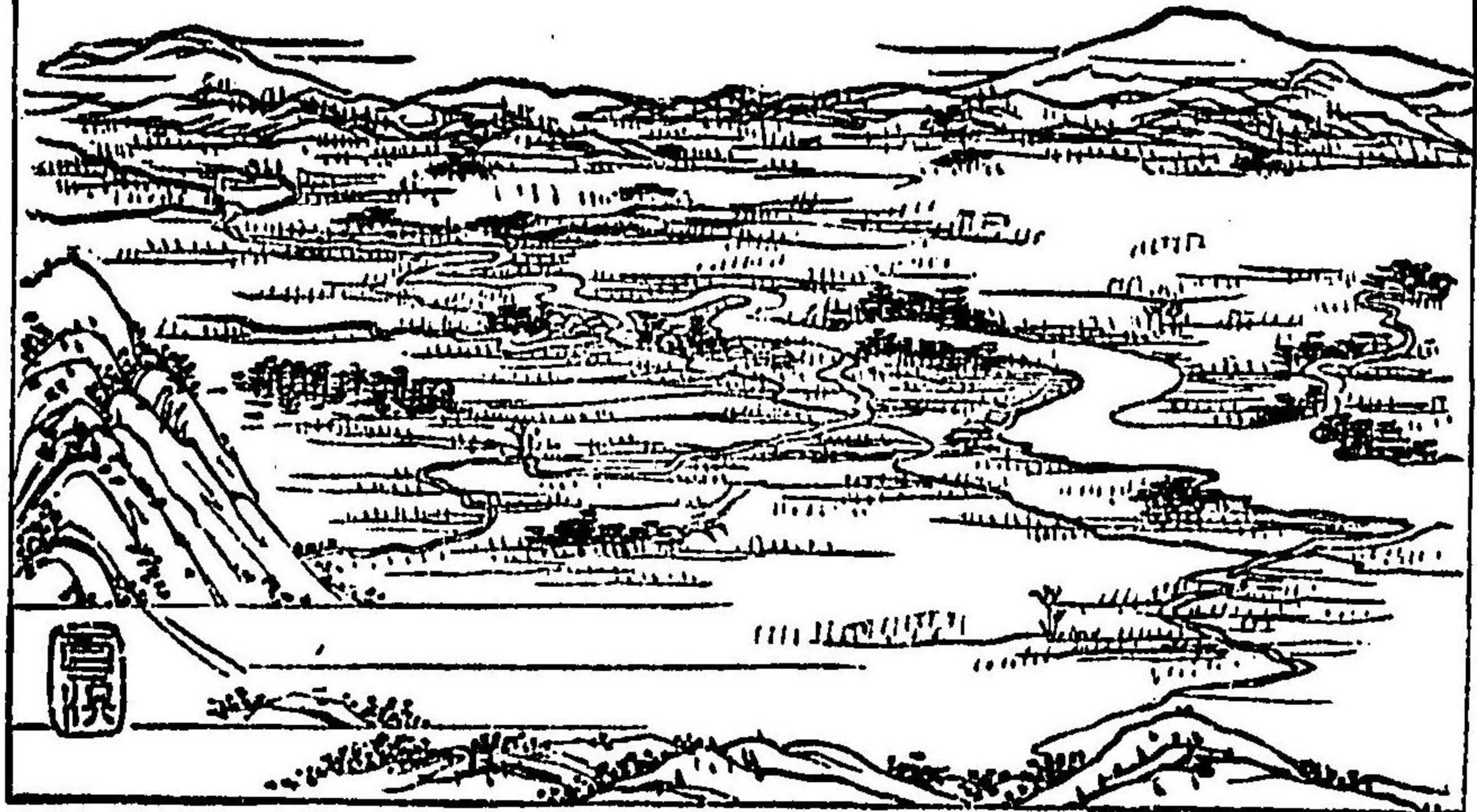
發シ大小數十ノ支流ヲ入レテ十勝原野ヲ横斷
シ下流十勝郡ニ入り分レテニ派トナリ本流ハ
東ニ折レ浦幌川(三十里)ヲ容レテ海ニ入ル長サ
五十三里餘幅百三四十間ニ及フ分流ハ大津川
ト稱シ南向シ大津ニ至リ海ニ入ル其大サ本流
ニ似タリ
支流ノ大ナルモノヲ利別川トス釧路ヨリ來リ
テ水深ク瀛船ヲ通スヘシ之ニ次クモノヲ音更
川(三十里)及然別川トス共ニ千島帶山脈ヨリ來レ
リ其日高山脈ヨリ流ルモノハさつない川(三十

原野

里ノ外二十里内外ノ支流數條アリ諸川ノ流域八十勝原野ニシテ一望殆ト際ナシ歷舟川(十四里)ハ西南部ニアリ湖水ハ最多シ然別川ノ水源ナル然別湖ノ外皆海岸ニアリ此國ノ海濱ヲ旅行スル人ハ諸沼ト海水トノ間ナル狭キ砂

湖沼

圖ノ野原勝十



交通

圖ノ口川大



丘ヲ往來スルナラン國中ノ道路ハ海岸ニアリ西南ハ岩石多クシテ險ナレトモ茂寄村以東ハ沙濱ヲ行クヘシ大津村ハ河口ニアレトモ泊舟ニ堪ヘス此村ヨリ内帯廣村ニ達スルヲ得あいなハ多ク十勝ノ本支

流ニ沿ヒテ部落ヲナシ漁農ヲ務メ稍生活ノ道ヲ得タリ

物産 物産ハ海産ニ鮭、昆布、鱈等最名アリ鑛物ニ八十勝石アルノミ

釧路國

疆域 東ハ根室國ニ界シ北ハ北見國ニ接シ西ハ十勝郡國ニ隣リ南ハ太平洋ニ臨ム國中分チテ釧路、白糠、足寄、阿寒、川上、厚岸ノ六郡トス
地形 北方ハ千島帶山脈相連リ山間ニ大小湖水アリ東南ハ平地ナレトモ高原多ク西部ハ山嶽多ク

山脈 レトモ甚高カラス西北端ハ山間別ニ一境ヲナシ水流皆十勝ニ入ル此近傍ヲ足寄原野ト云フ
雌阿寒(西尺千八)雄阿寒(東尺千五)ノ兩嶽國ノ中央以北ニ對立シ其脈國中ニ延キテ高原トナルあどさのぼりハ多量ノ硫黄ヲ産スルヲ以テ著名ナリ
鐵道 山麓ニ鐵道ノ設アリ二十六哩ニシテ標茶ニ達セリ諸山ノ間處々ニ温泉アリ
湖沼 雌雄阿寒嶽ノ間ニ湖水アリ阿寒湖(周尺四凡七)ト云フ湖水南ニ出テ、瀑布トナル下流ヲ阿寒川(尺三)ト云フ數川ヲ合セテ東南ニ流レ釧路川ニ

原野

入ル河岸ニ廣キ沃野アリテ殖民ニ適ス

湖沼

屈斜路湖(一名劍湖)ハ國ノ最北ニアリ周圍凡十三里一島中央ニ立千山脈三面ヲ環リ水清クシテ奇魚生ス其下流ハ劍路川トナル其東ニ摩周湖(周凡三)アリ群峯之ヲ繞ル湖水ハ地下ヲ潜流シ

劍路川阿寒山麓



河流

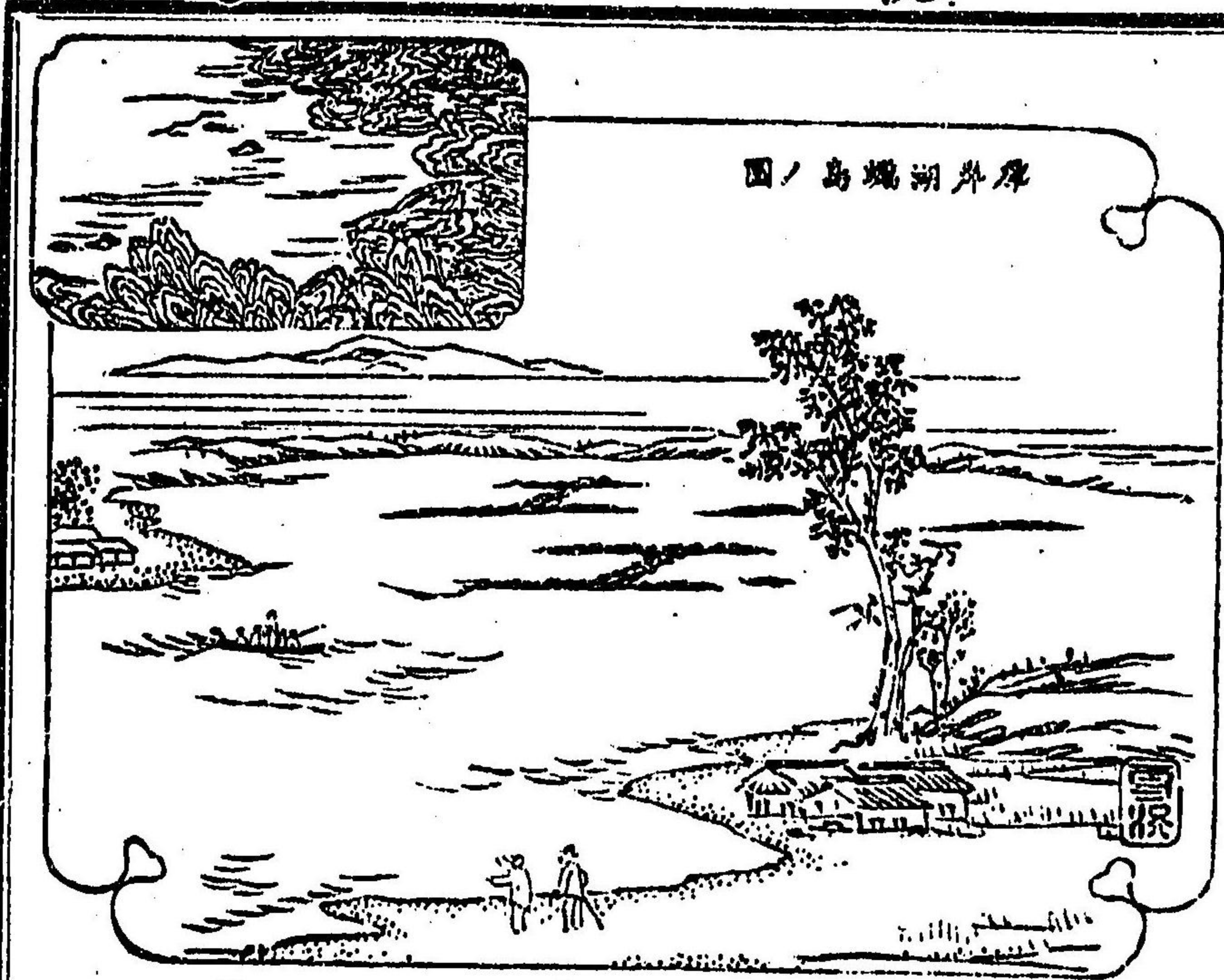
テ西別川トナルト云フ其他湖水甚多シ
劍路川(三十三里餘)ハ東部大川ノ一ニシテ河口ノ幅六十間水勢緩クシテ十四里ノ間漁船ヲ通シ小舟ハ水源ニ達スルヲ得故ニ川上郡ノ運輸ハ主トシテ此川ニヨル支流ノ大ナルモノハ阿寒川ニシテ雪裡川(十一里)ハ之ニ次ク河岸ニ平野多シ其他西部ニ茶路(十八里)庶路ノ諸川アリ東部ニ別寒邊牛川等アリ

港灣

厚岸港(戸數凡千四百五十)ハ東海岸良港ノ一ニシテ港口西ニ向ヒ水深クシテ船舶ノ碇泊ニ宜シ

寺院

交通



大黒島東南ニ立千テ燈臺ノ設アリ市中ニ古寺アリ國泰寺ト云フ港ノ内部ニ鹹湖アリ厚岸湖（周凡七里）ト云フ數十ノ小嶼アリ牡蠣一面ニ附着スルヲ以テ一名牡蠣島ト稱ス厚岸港ヨリ西方太田村ノ屯田兵村ヲ過キ原野

釧路

ヲ行クコト十三里三十町ニシテ釧路港（戸數凡七百九十）ニ達ス此港ハ釧路河口ニアリ小岬出テ、灣形ヲナセリ此地ハ元一漁村タリシカ郡役所ノ設アリ硫黄採掘ノ業起リシヨリ人口漸ク増シ近年又特別輸出港トナレリ港ノ東方ニ沼アリ春取ト云フ此近傍石炭ヲ産ス釧路港ヨリ西方ニ向ヒテ海岸ヲ行クトキハ白糠村ヲ經テ十勝ノ大津村ニ達スヘシ濱中ハ厚岸港ノ東方凡九里ニ在リ戸口未タ多カラサレトモ函館根室間ノ要港タリ

標茶

陸路ハ沿岸ノ國道ノ外釧路網走間ノ新道成レ
リ網走ヨリ國境ヲ越エテ硫黄山ニ至ルトキハ
鐵道ノ便ニヨリテ集治分監ノ設アル標茶ニ至
ルヘシ是ヨリ釧路迄ハ十二里半ニ過キス

物産

物産中昆布鯨ハ此國ノ名産ニシテ牡蠣ハ厚岸
湖ノ特産ナリ鮭鱈亦乏シカラズ鑛産ニハ硫黃
石炭アリ

根室國

疆域

西南ハ釧路ニ隣リ西北ハ北見ニ界シ東ハ海ニ
面シ根室海峡ヲ隔テ、千島國國後島ト相對ス

郡

地形

國中分チテ根室、花咲、野付、
標津、目梨ノ五郡トス
納沙布岬ハ東南ニアリ知
床岬東北ニアリ中央ニ野
付ノ砂地突出シテ半島ヲ
ナセリ國ノ西北部ハ良牛、
斜里、標津ノ諸山相連リ知
床岬ニ盡キ中央ト南方ト
ハ高原平野遙ニ釧路ノ原
野ニ連ル海岸ハ知床岬ノ



納沙布岬地誌圖

湖沼

外ハ丘陵砂濱相雜リ中央ハ洲ヲ隔ラ、風連湖(五周里四十)及恩禰湖アリ

河流

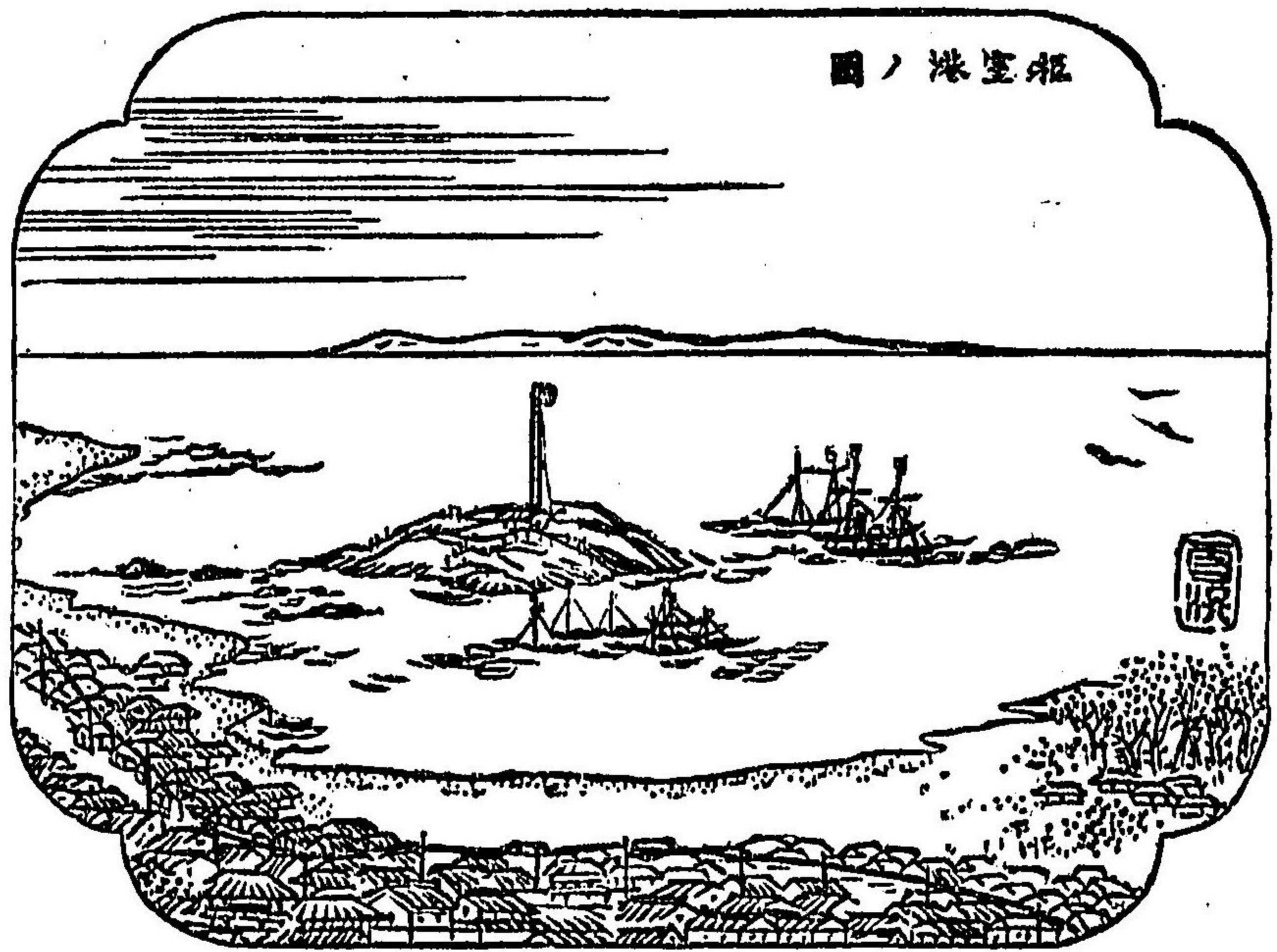
河流ハ皆西北ヨリ發シ東流シテ海ニ入ル其最大ナルモノハ西別川(三餘十)ニシテ源ヲ釧路國西別嶽ニ發シ鮭鱒ヲ産スルコト多ク水源ニ産卵場アリ之ニ次クモノヲ風連川(二十)標津川(七十)トス

島嶼

國中島嶼多シ其大ナルモノヲ水晶島(周四凡)志發(周二凡)ニ島トス水晶島ハ納沙布岬ノ東凡二里ニアリテ志發島ハ其東數里ヲ隔ツ二島ノ近傍

氣候

港市



ニ數小島アリ此國ハ本島中氣候最寒冷ニシテ一年ノ平均溫度ハ四十二度ニ過キス殊ニ夏秋ノ候深霧屢々起リテ寒冷ヲ感スルヲ常トス根室港ハ國ノ東部ニ位シ西北ハ野付西別ニ對シ北ハ國後ニ面ス港口

二辨天島アリ燈臺ヲ設ク島東ハ深クシテ航行
 二便ナリ市街ハ丘陵ニ據リテ相連リ戸數凡三
 千二百、人口一萬二千四百裁判所、郡衙、學校、病院
 アリ航路ハ網走、千島、厚岸、函館等ト相通スルヲ
 以テ夏秋ノ間船舶ノ出入頗ル多シ南方ニ里花
 咲灣アリ根室港結氷ノ際船舶此ニ出入スルヲ
 常トス

交通

根室ヨリ西北海岸ニ沿ヒ西別、標別、忠類諸村ヲ
 經テ西方斜里山道ヲ越ユルトキハ北見ノ網走
 港ニ至ルヘシ之ヲ官道トス又花咲灣ヨリ西方

物産

凡十里ニシテ釧路ノ境ニ入ルヘシ
 物産ハ鮭ヲ第一トス西別川最名アリ鱒、鯉之ニ
 次ク昆布ハ花咲郡ノ海岸ニ産シテ海外ニ輸出
 ス其他ハ鱈、鮑等ナリ

千島國

疆域

千島ハ根室ノ東北ナル海中凡三百里ノ間ニ羅
 列セル三十餘島ヨリ成レリ其最南ニアルモノ
 ヲ國後島ト云ヒ最北ニアルモノヲ占守島ト云
 フ千島海峡ヲ隔テ、露領、かむさつか半島ノ、ろ
 ばとか岬ト相對ス國中分チテ色丹、國後、擇捉、振

郡

地形

別、紗那、藥取、得撫、新知、占守ノ九郡トス
 全島火山脈連亘シ平地極メテ少ク海岸ハ絶壁
 多クシテ浪荒ク東海岸ハ西海岸ニ比スレハ更
 ニ險惡ナリ安全ノ港湾ハ色丹島ノ斜古丹灣ア
 ルノミ河流ハ短クシテ急流多ク人民ハ色丹國
 後及擇捉ノ三島ニ住スルノミ故ニ得撫以北ハ
 殆ト交通ヲ絶テリ
 此國ハ寒氣殊ニ強クシテ占守島ハ七月中ノ温
 度ハ七十五六度ヨリ四十四五度ニ下ル曇天又
 ハ海霧ノ日多シ最北ノ數島ハ九月中旬ニ雪降

氣候

リ殘雪ハ七八月ニ至ル嚴冬ニ至レハ海峡凍合
 スルヲ常トス
 國後ハ群島中大島ノ一二シテ南端ニ「けらむい」
 岬アリ根室ヲ距ル十二海里北端「あとい」岬ハ
 擇捉島ト七海里ヲ隔ツ長サ三十里幅ノ廣キ所
 ハ八里アリ中央ニ羅臼嶽（三十二尺）アリ北端ニ「ち
 やちやぬぶり」（十五尺）アリ泊村ハ南端ノ要港ニ
 シテ船舶常ニ根室北見ノ諸港ニ來往ス

國後

色丹

色丹島（周二四里）ハ根室ノ東北六十三海里ニアリ
 海岸ハ屈曲多ク斜古丹ハ東北端ニアル良灣十

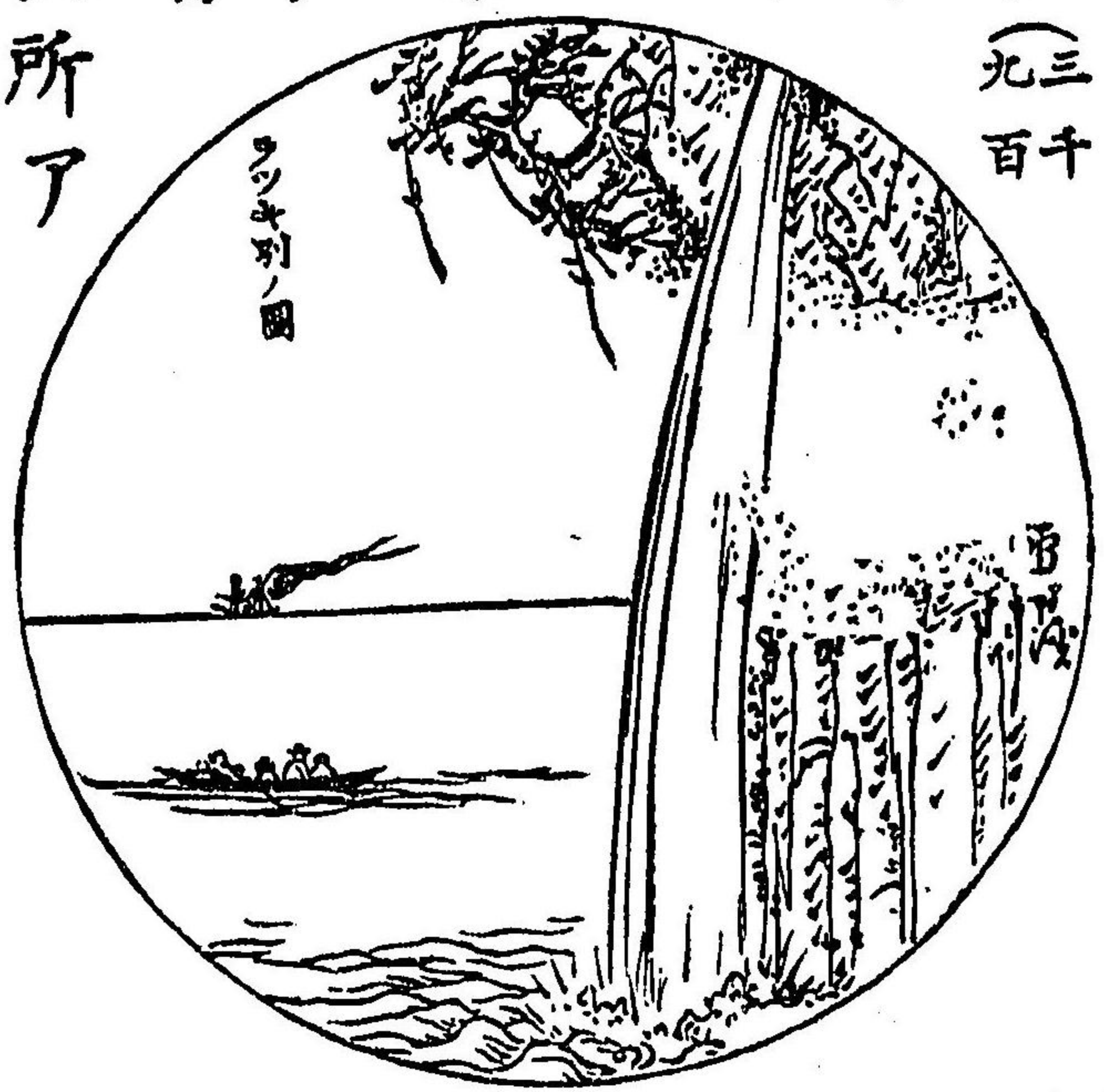
リ此島ノ土人ハ明治十七年占守島ヨリ移レル
モノニシテ本道ノ「あいぬ」人ニ比スレハ體格性
質共ニ劣レリ

擇捉

色丹島ヨリ東北ニ航シ國後島ヲ西ニ望ミテ進
ムトキハ擇捉島（周回二百四十里）ニ達スヘシ此島ハ千
島第一ノ大島ニシテ長サ凡五十三里幅ハ東北
端廣ケレトモ中央ト南方トハ狭シ西岸ニハ三
半島アリテ泊舟ニ便ナル所多ケレトモ東岸ニ
ハ唯單冠（ヒキ）ノ一大灣アルノミ火山ノ大ナルモノ
ハ八個アリ「ちるつぶ」山（五千四百尺）ハ西北海岸ニ聳

瀑布

エテ最高ク共ニ硫黄ヲ出スコト少ナカラス東
北端ナル「らつきべつ」嶽（三千九百尺）
ノ斷岸ニ大瀑布アリ
海中ニ落ツ眺望頗ル可
ナリ
全島ヲ紗那、振別、擇捉、藥
取ノ四郡ニ分テトモ戸
口尚ホ少クシテ人民皆
西岸ニ住ム紗那ニ郡役所ア
リ學校、病院等ノ設アリ留別村ハ之ニ次ク



開拓

此島ハ近藤守重、高田屋嘉兵衛等ノ渡航シテ、あ
いぬヲ撫育セシ所ニシテ風化夙ニ行ハル

得撫

得撫島（周十四里）ハ海岸ノ屈曲少ク良港ナシ是ヨ
リ東北諸島ハ臘虎ヲ生スルコト多シ東北數島

ヲ合シテ得撫郡トス

新
知
其
他
島
嶼

得撫ノ東北五十六海里ニ新知島（長凡十二里）ア
リ北方ニ一港アリ、ぶろとん島ト云フ山脈相圍
ミテ波靜ニ水深ケレトモ港門ニ暗礁アリ之ヲ
開クトキハ千島第一ノ良港トナルヘシト云フ
之ヨリ東北數島ヲ經テ、らいこけ島ニ至ル共ニ

新知郡ヲナセリ

らいこけ島ヨリ數島ヲ過キテ、れんねこたん島

ニ達スヘシ此島ノ大サハ新知島ト略同シ、ばら

もーり島（長二十六里）ハ得撫以北ノ大島ニシテ

北岸ノ、れつとまい灣ハ泊舟ニ宜シ

あらいと灣ハ、ばらもーり島ノ北ニアリ中央ニ

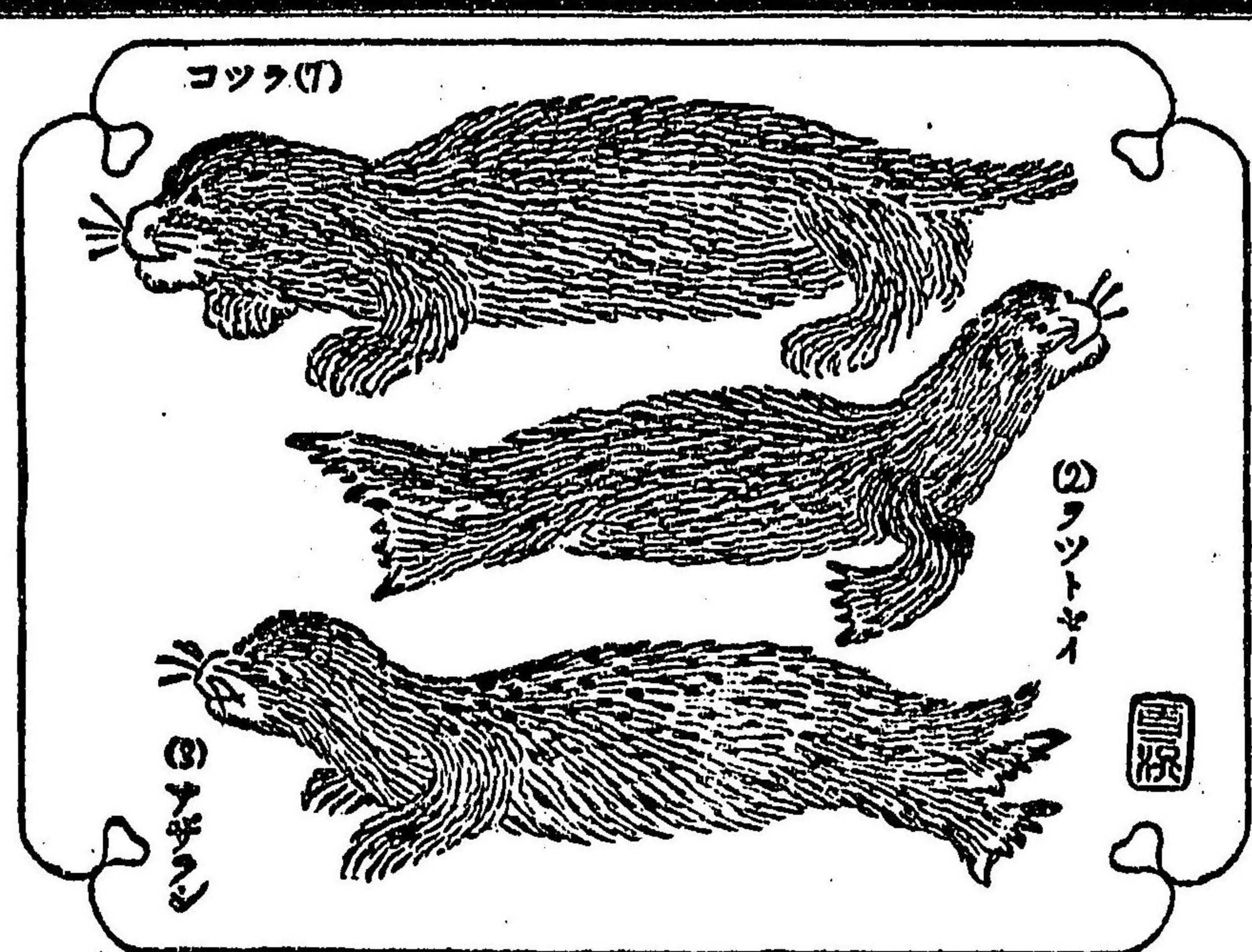
一山峙立ス千島第一ノ高山ニシテ終歲白雪ノ

消ユルコト無シ

占守

占守島ハ我國ノ最北ニ位シ東北ハ東察加半島
ノ、ろばつか岬ト相距ル僅ニ三里周圍凡十九里

物産

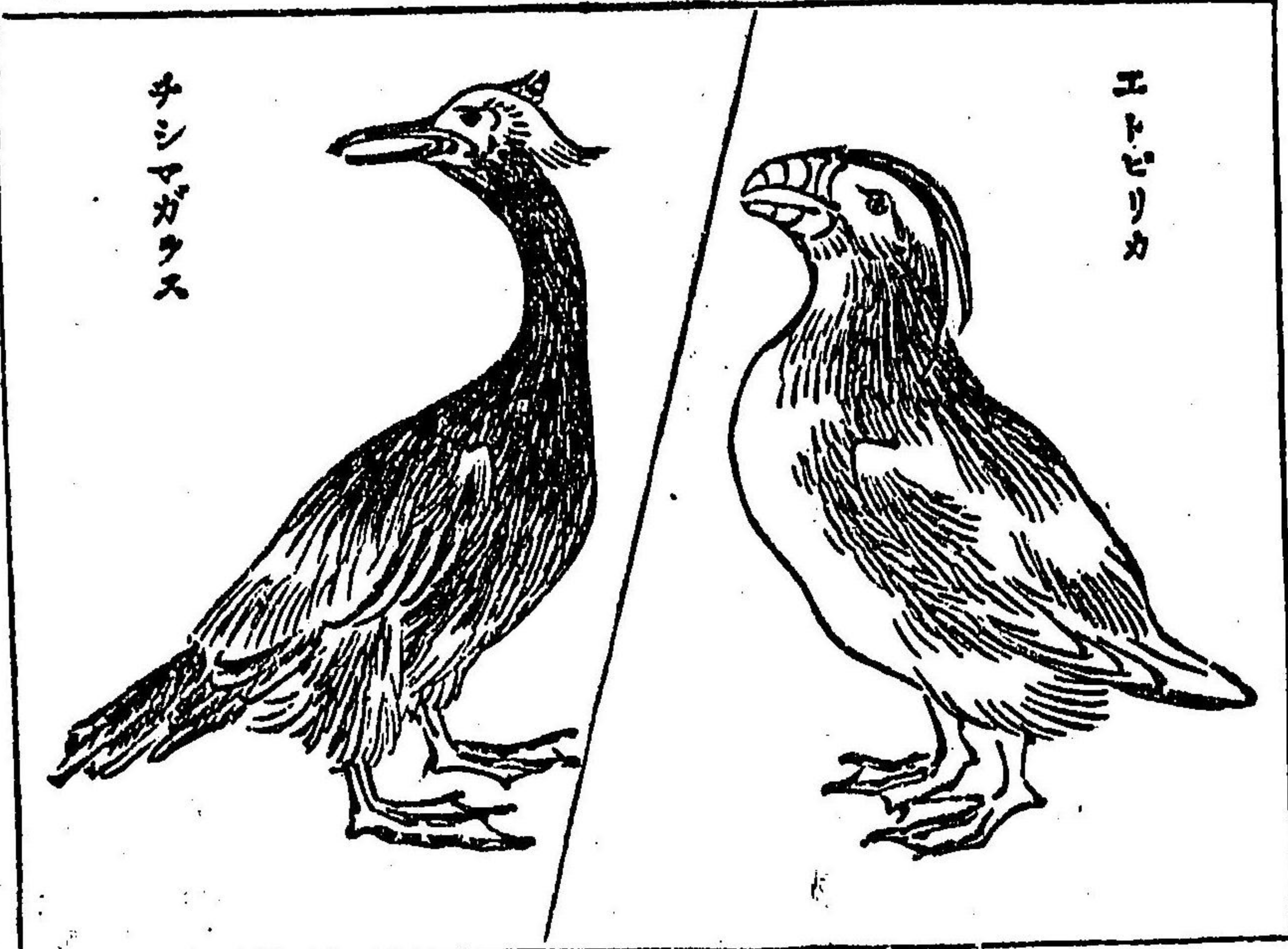


アリ丘陵起伏シテ地味肥沃ナリ西南岸ノ一灣ハ泊舟ニ便ナリ之ヲもよろつぶト云フ物産ハ鱒ヲ第一トシテ紅鱒、鮭、鱈、鯨、魚、昆布モ少ナカラス臘虎、水豹等ノ海獸多キヲ以テ年々外國ノ密獵船數百艘來レリト云フ陸獸ニハ狐

熊、貂、アリ鳥類ニハ「まど」びりか「ち」まからすノ特産アリ鑛物ハ硫黄ヲ第一トス國後ノもよろ山最多シ

第三編 結論

北海道各國ノ形勢ハ前文ニテ略説キ了レリ汝等北海道ノ地圖ヲ披イテ熟視セヨ全道ノ形状





ハ飛鳥ノ翼ヲ張ルカ如ク
 渡島ハ南ニ向ヒテ喙ヲ開
 キ後志、膽振ハ頸ヲ延ヘ石
 狩背高ク天鹽、北見ト日高
 十勝トハ翼ヲ南北ニ展ヘ
 釧路臀トナリ根室股トナ
 リ千島尾ヲ其後ニ曳ケリ
 本地ノ盡頭ハ西南ニ持田
 神威ノ二岬斗出シ南ニ白
 神岬アリ北ニ宗谷岬アリ

山脈
原野

地殖民

氣候

東北ハ知床岬トナリ東ハ納沙布岬トナリ東南
 ハ襟裳岬トナル
 内部ハ高山處々ニ聳ユ殊ニ火山多ク大河縱橫
 ニ流レ湖水少カラスト雖トモ石狩、天鹽、十勝、釧
 路、根室、北見、及後志、渡島諸國ノ原野貳拾八億六
 千餘萬坪ノ多キアリ此土地ハ皆農耕牧畜ニ適
 スルカ故ニ少クモ一千餘萬人ヲ容ル、ニ足ル
 ト云ヘリ豈廣大ナラスヤ
 世人ハ往々北海道ヲ目シテ極メテ寒キ國ナリ
 トシテ移住ヲ厭フモノアレトモ外國ノ繁華十

積雪

ル都府ニ比シテ大ナル差ナク年中ノ平均ハ四十五度極寒ノ時零度以下ニ降ルハ稀ニシテ晝間日常ノ業務ニ從フニ妨ナシ降雪ハ十一月ニ始リ四月ニ終ルヲ常トスルトモ堆雪ハ四五尺ニ過キス雪中ハ却テ雪車ヲ用ヒテ貨物薪炭ヲ搬送スル便アリ

物産

物産ハ水産收穫ノ價一ケ年一千萬圓ニ垂ントス陸ニハ米麥其他ノ雜穀、麻、藍、甜菜等ヲ産シ山林ハ六百餘萬町歩アリテ良材ニ乏シカラズ礦物ハ石炭、硫黃、砂金、銀、銅、沙鐵、石油、石灰石、其他種

港市

々アリ中ニ就キ石炭ハ全道ノ炭量大約六億噸硫黃ハ二百餘萬石アリ今ヤ開墾年ニ増加シテ農産物收穫ノ多キヲ見製麻、製糖、製糸、若クハ製粉、製藍、魚類罐詰、麥酒製造等ノ工業ハ漸次盛大ナラントス

本道中繁華ノ土地ハ札幌ヲ除ク外ハ皆沿海ノ地ニ在リ其最モ著ル、モノ南岸ニ函館、福山アリ西岸ニ小樽、江差、壽都、岩内、増毛、稚内アリ東岸ニ根室アリ之ニ次キ西岸ニアリテ稍、小繁華ヲ爲セルハ余市、古平、石狩ナリ東岸ニ室蘭、釧路、厚

岸アリ

風俗

全道移民ノ多數ハ明治以降ノ移住民ナレハ各
 其生國ノ風俗習慣ヲ守リテ同一ナラザレドモ
 概子奥羽ニ近シ農業者ハ節儉ヲ勤メ漁業者ハ
 貯蓄ノ念慮ニ乏シ函館小樽等ハ商業最盛ニ活
 潑ノ氣象ニ富ミ福山ハ數百年松前藩治ノ下ニ
 アリシガ爲メ風俗自ラ温順ニシテ規律アリ
 本道ハ往古蝦夷ノ地ニシテ叛服常ナカリシニ
 後鳥羽天皇ノ時藤原泰衡ノ將士往々夷地ニ入
 ルモノアリ當時稱シテ渡黨ト云フ本州人ノ本

沿革

武田
信廣

道ニ移住スル是ニ始マル享徳中武田信廣若狹
 ヲリ來リ上國ノ蠣崎季繁ノ女婿トナリ蝦夷ヲ
 服從シ蠣崎氏ヲ冒ス其後五世慶廣ニ至リ江戸
 ニ至リ徳川家康ニ見エテ内附シ氏ヲ松前ト改
 ム是ニ於テ今ノ渡島國ヲ松前領ト稱シ其餘ハ
 總テ蝦夷地トナシテ之ヲ領セリ後凡二百五十
 年ヲ經テ安政ニ至リ松前ノ封ヲ移シ箱館奉行
 ヲ置キテ全島ヲ統治ス明治二年開拓使ヲ建テ
 蝦夷ヲ改テ北海道ト稱シ分チテ十一國八十六
 郡後新置分合アリト爲ス十五年使ヲ廢シ函

館、札幌、根室三縣ヲ置シ二十九年之ヲ廢シ北海道廳ヲ置キテ全道ヲ總管シ今日ニ至レリ
北海道地理ノ概略ハ既ニ說ケリ更ニ一言シテ汝等ノ注意ヲ喚ヒ起シタキコトアリ抑、北海道ハ北門ノ鎖鑰ニシテ帝國ノ富源ナリ一タヒ此地ヲ開拓シテ饒多ノ物産ヲ收メテ帝國ノ富強ハ今日ニ幾倍スルニ至ラン明治ノ初首トシテ開拓ノ大詔ヲ下シタマヒシハ實ニ 聖旨ノ深遠ナルヲ窺フニ足レリ今ヤ本道ノ人口既ニ六十餘萬人ニ上ルト雖トモ其面積ノ大ナルニ

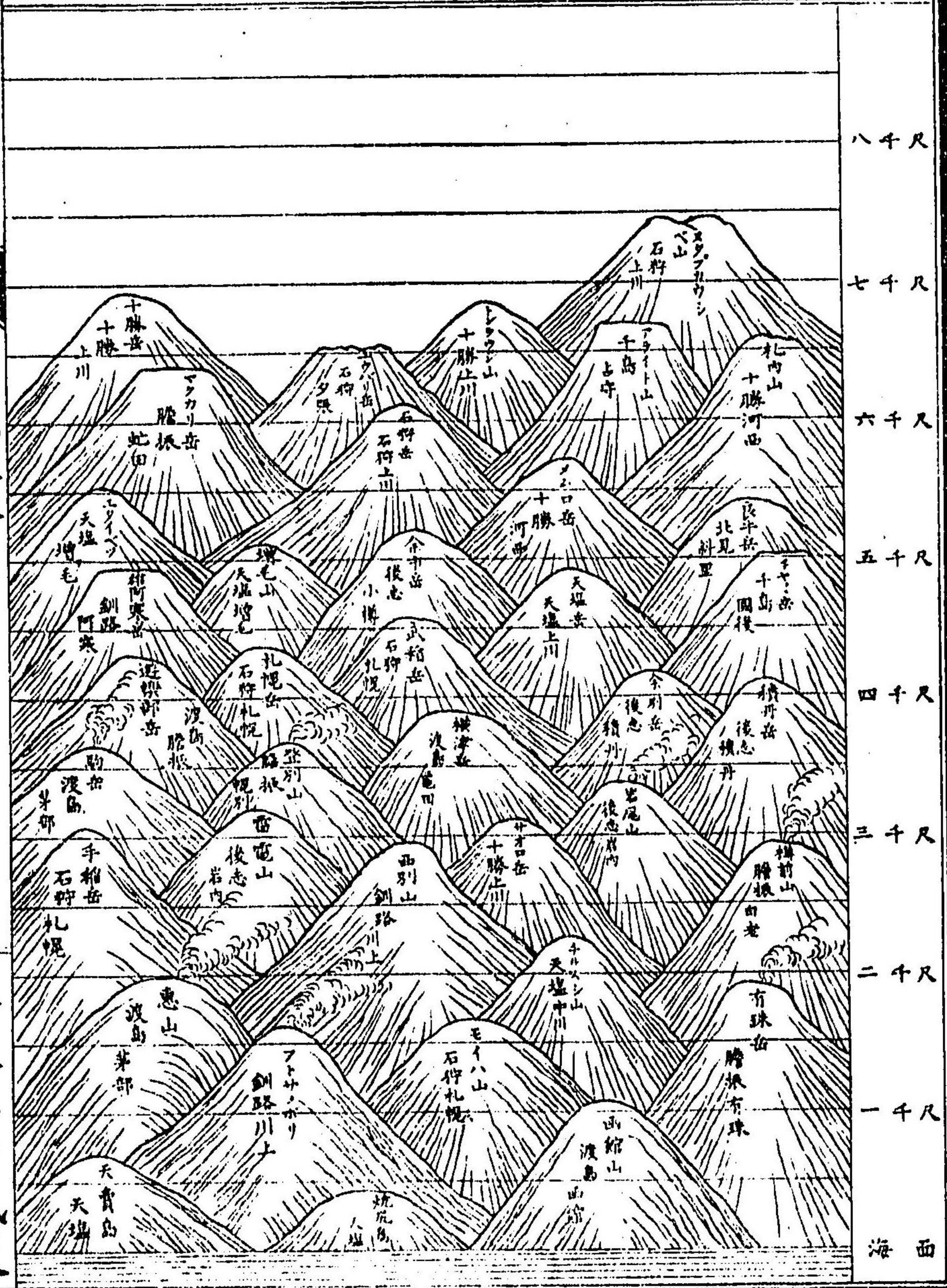
比スレハ極メテ少シサレバ汝等深ク 聖旨ヲ體シ開拓ノ先導トナリ荒蕪ヲ拓キ農桑牧畜漁獵其他ノ實業ヲ振興シテ國家富強ノ基礎ヲ立テ兼テ自己及子孫ノ幸福ヲ圖ルベキナリ

北海道地誌略終

高山比較表

北海道志

山川比較表

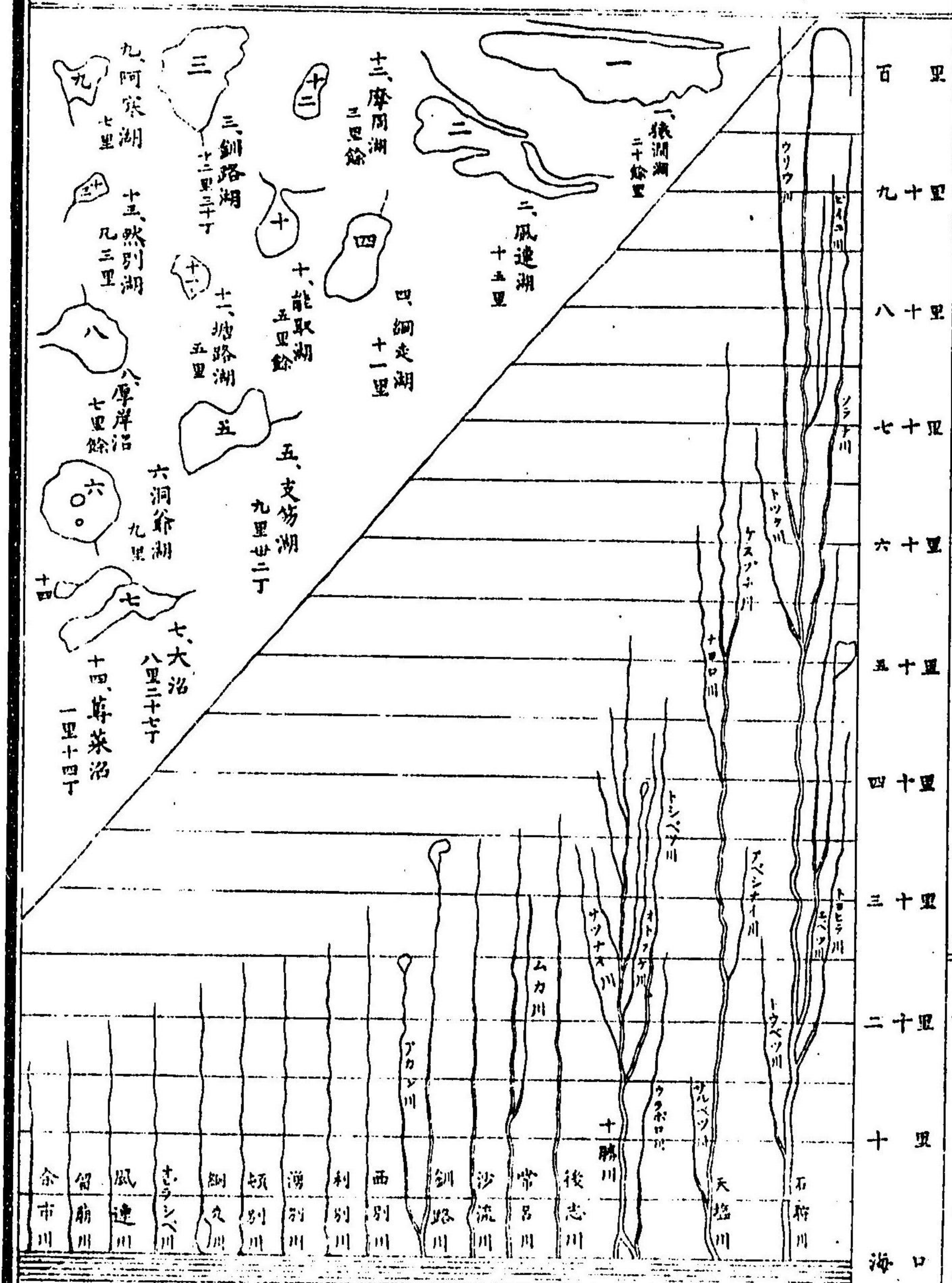


青森県志

北海道地誌

青森県志

大河大湖比較表



余市川	留萌川	風連川	志摩川	釧路川	利別川	西別川	釧路川	沙流川	常呂川	後志川	大空川	石狩川
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

統計表

區分	面積	町數	村數	現住戶數	現住人員	墾成耕地	牛數	馬數	農產
渡島	二六三	一〇	一〇	三,六二二	一七,八〇〇	二六,〇〇〇	一,〇一八	一四,〇二九	米, 雜穀
後志	二九七	一七	一七	三,九七九	二〇,三三〇	二六,〇〇〇	四八	四,三六六	米, 雜穀
天孫	六六八	九	九	三,二五五	一五,一七三	一〇,〇〇〇	五八	五,二六六	米, 雜穀
北見	一,〇三三	八	八	三,七三三	一四,五五五	一〇,〇〇〇	六九	二,六六九	米, 雜穀
釧路	四八〇	八	八	五,一八三	二五,五三三	一〇,〇〇〇	六〇	八,七七一	米, 雜穀
日高	三三三	七	七	三,二〇三	一五,三六八	一〇,〇〇〇	五八	二,三〇二	米, 雜穀
十勝	一,〇六九	七	七	七,〇〇〇	二六,〇〇〇	一〇,〇〇〇	五五	一,九四三	米, 雜穀
釧路	六六三	六	六	三,三二二	一四,八三三	一〇,〇〇〇	四六	四,一〇八	米, 雜穀
根室	二六三	五	五	四,六六六	二〇,三九六	一〇,〇〇〇	三六	三,三六八	米, 雜穀
島根	一,〇三三	五	五	六,六六六	三〇,三九九	一〇,〇〇〇	二八	四,四二二	米, 雜穀
合計	六,九九九	八八	八八	一〇〇,〇〇〇	四八八,三三九	一〇〇,〇〇〇	四,八八三	五五,九九九	米, 雜穀

